

平成27年度 横浜文化体育館事業計画書

1 基本方針

(1) 重点項目

指定管理5年目(最終年)となる横浜文化体育館の管理運営を次に掲げる3つの基本方針に基づき着実に推進していきます。スポーツ施設と文化施設という二面性を持つ施設特性、都市部立地というポテンシャルパワー、そして私たちの「組織力」を活用し、横浜市のパートナーとしての使命を遂行していきます。

基本方針1 市民の期待に応える施設特性の発揮

スポーツ・文化・興行のバランスがとれた利用配分を行います。

基本方針2 新しいスポーツシーンを共創し、見るスポーツを振興

国際スポーツ競技大会など、市民がスポーツの醍醐味を体感でき、マスコミなどに露出度の高い大会を積極的に誘致するとともに、市民向け大会や各種教室事業も展開します。

基本方針3 どこよりも安全・安心・快適と評価される施設を創造

施設の維持管理体制を充実し、利用者満足度・サービスの向上に努めます。

(2) 数値目標

施設稼働率	90%以上
総利用者数	40万人以上
利用料金収入	67,001千円(時間外利用料金を除く)以上
興行の誘致	10本

平成27年度 横浜文化体育館事業報告書

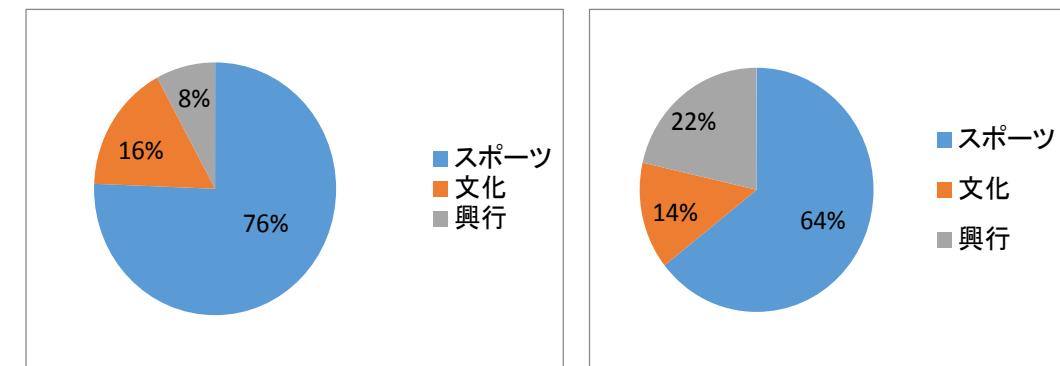
1 基本方針

(1) 重点項目

基本方針1 市民の期待に応える施設特性の発揮

利用調整会議にて決定した利用調整方針に従い、調整を行いました。

【利用用途別利用団体(%)】 【利用用途別利用人数(%)】



基本方針2 新しいスポーツシーンを共創し、見るスポーツを振興

昨年度に引き続き、皇后盃全日本女子柔道選手権大会が行われ、NHK放送により全国に生中継されました。

バスケットボールbjリーグの横浜ビーコルセアーズ戦や全日本ジュニア体操競技大会、全日本ジュニアレスリング大会などの全国規模のジュニア大会等が行われ、各競技のトップクラスの技や演技を身近で観戦できる機会を提供しました。

基本方針3 どこよりも安全・安心・快適と評価される施設を創造

施設の管理・運営体制について、大会利用後の主催者を対象としたアンケートや職員によるヒアリングなどを行い、利用者満足度やサービス提供の向上に努めました。

(2) 数値実績

	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	年間数値
コマ利用率 (本館アリーナ)	90.7%	97.0%	90.2%	88.9%	91.9%
利用者数	101,829人	133,582人	94,207人	80,264人	409,882人
利用料金収入 (単位:円)	36,697千円	15,756千円	8,542千円	8,183千円	69,180千円
興行数	3	3	4	1	12

2 運営実施体制・職員配置について

(1) 趣旨

横浜文化体育館の管理運営について蓄積してきた運営ノウハウを最大限に活かし、専門的知識を持つ人材を効果的に配置することにより高品質・効率的な施設運営を実施します。

(2) 具体的取組内容（実施事項）

横浜市体育協会職員は常勤とし、責任者（館長）を配置、業務委託先についても常勤として業務遂行の責任者を配置します。大会等の対応は勤務体制(例)のように交代勤務による対応をします。

(公財)横浜市体育協会(人員配置)			
館長(責任者)	常勤	1名	全体総括
職員1	常勤	1名	事業担当・利用調整
職員2	常勤	1名	庶務・経理
職員3	常勤	1名	経理・施設設備管理
職員4	常勤	1名	利用調整・場内整理
職員5	常勤	1名	統計・事業担当
職員6	常勤	1名	施設・設備管理
サポートスタッフ	交代勤務 レストハウス・事務・ 場内 4~8人	8 ~ 12名	レストハウス受付 本館受付 場内整理
総合管理委託業務(委託会社)			
主任	常勤	1名	常駐・交替制
清掃	常勤職員	1名	
〃(館内・外回)	非常勤職員	9名	
警備	常勤職員	3名	
設備	常勤職員	4名	
舞台操作管理業務(委託会社)			
舞台管理	常勤	1名	常駐・交替制
舞台操作	非常勤職員	4名	

(例) 準備から撤収まで長時間にわたるため、交代勤務制で対応し効率的に対応します。

時刻	基本時間	時間帯	利用者	職員(固有、嘱託)					サポートスタッフ(アルバイト)			時刻
				勤務1	勤務2	勤務3	勤務4	勤務5	朝	昼	晩	
7:00		早朝	時間外利用 打合せによる前倒し 準備・設営	超過勤務								6:30
8:00				出勤								7:30
9:00	開始	午前	入館		出勤				出勤			8:30
12:00		午後	催事開催		出勤		出勤					11:00
13:00												12:30 12:45 13:00 13:15 14:45
17:00		夜間		退勤	退勤	退勤	退勤	退勤	退勤	出勤		17:15 17:30 19:45 21:15
22:00	閉館	深夜	退館 時間外利用 打合せによる延長 催事延長 撤収延長対応 終了まで				退勤	超過勤務				22:00
23:00												23:00
23:30												
0:00												0:00

※イベント等の利用状況に応じた勤務態勢を選択
※時間外利用も柔軟に対応

2 運営実施体制・職員配置について

具体的取組内容

人員配置、責任者の配置、業務委託先、勤務体制

(公財)横浜市体育協会(職員配置)			
館長	江藤	常勤	1名
利用調整	田村	常勤	1名
庶務・経理	市村	常勤	1名
事業・指導	戸田	常勤	1名
設備管理	吉岡	常勤	1名
庶務・経理	西	常勤	1名
レストハウス受付			
本館受付		サポートスタッフ	10名
場内整理			交代勤務、普通救命講習
総合管理委託業務(西田装備)			
主任	常勤	1名	常駐・交替制
清掃	常勤職員	1名	
〃(館内・外回)	非常勤職員	9名	
警備	常勤職員	3名	
設備	常勤職員	4名	
舞台操作管理業務(横浜アーチスト)			
舞台管理	常勤	1名	常駐・交替制
舞台操作	非常勤	4名	

イベント内容、利用時間に合わせて交代勤務体制にて実施しました。

1 勤 (8:30~17:15)

2 勤 (11:00~19:45)

3 勤 (12:30~21:15)

4 勤 (13:15~22:00)

5 勤 (14:45~23:30)

上記の 5 交代制

3 施設の平等・公平な利用の確保について

(1) 趣旨

関係法令に関する職員研修の実施、「利用調整会議」の方針等を踏まえた団体利用の年間スケジュールの策定、ユニバーサルデザインの原則を踏まえたサービスの提供といった対応策を講じることで、施設利用の平等性・公平性を確保していきます。

(2) 具体的取組内容（実施事項）

ア 職員研修の実施

地方自治法の関連規定の解釈・運用、事例等について、職員を対象とした研修を定期的に行なうことで、使用許可や使用制限における平等性を確保します。

イ 団体利用受付

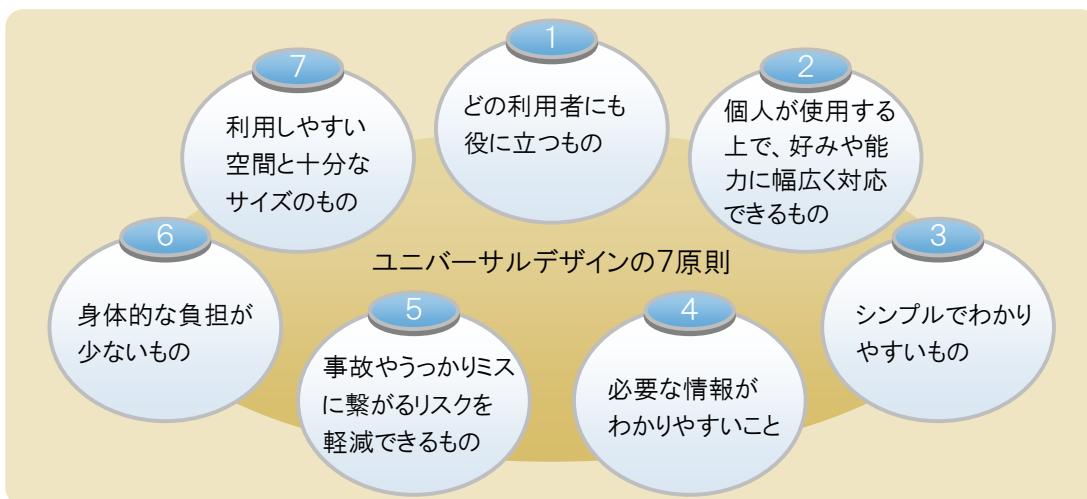
施設の団体利用の年間スケジュールは、一般団体の利用を公平に行なうため、「優先利用基準」の適切な運用や、有識者からなる「利用調整会議」において定める基本方針に即して調整することにより、その公平性を確保します。

ウ 教室受付

事前申込みについては、インターネットや往復ハガキで受け付けます。その応募が多数の場合は、「初めて参加する人を優先する」抽選方法を採用するなど、教室事業基本マニュアルに沿って抽選を実施し、公平で公正な運営を確保します。

エ ユニバーサルデザインを踏まえたサービス

市民の平等な施設利用を確保するために、ユニバーサルデザインの7原則を踏まえ、「人的サービス・業務的サービス・施設サービス」の三つのサービスを必要に応じて組み合わせながら、誰もが気持ちよく利用できる施設にします。



3 施設の平等・公平な利用の確保について

(具体的取組内容)

ア 職員研修の実施について

- ・個人情報保護法に関する研修や暴力団対策法に関する研修を実施しました。
- ・事件事故に対する情報共有を管理職会議（月1回開催）の中で適宜行われ、その情報を職員についても共有を図りました。

<取組み1>防災・減災の対応

平成22年度末に発生した東日本大震災の教訓を生かし、大規模災害発生時の施設利用者対応と帰宅困難者の受け入れ態勢の再検討を行い、防災計画書を見直しました。

中区災害対策連絡協議会に参加し、情報等の共有を図りました。

また、防災訓練と合わせてAEDの取扱い等の研修を実施しました。

<取組み2>個人情報保護法に則った当協会PMSに関する研修

個人情報保護法を順守すべく、当協会ではプライバシーマネジメントシステム（PMS）の運用により、各職員や従事スタッフに研修を義務付け、個人情報に関する法律上の解釈や個人情報の取扱いについて研修を実施しました。

<取組み3>地方自治法等法令に関する研修

地方自治法、スポーツ施設条例および施行規則等の解釈等研修を実施しました。

イ 団体利用受け付け

有識者等で構成される利用調整会議において決定した「利用調整基本方針」の優先順位、希望日程と併せて調整し、団体利用受け付けを行いました。

ウ 教室受付

事前申込みは、インターネットや往復ハガキで受け付けを行いました。

応募が多数の場合は、教室指導者と相談の上、出来るだけ多くの方に運動機会を提供するよう調整するとともに、抽選になる教室においては「初めて参加する人を優先する」抽選方法を採用するなど教室事業基本マニュアルに沿って抽選を実施しました。

エ ユニバーサルデザインを踏まえたサービスとして、以下の取り組みを行いました。

・人的サービス

来場者入退場においてロビーにスタッフを配置し、案内・誘導を実施しました。

1日4回の日常点検に加え、安全確認を行うためにスタッフが随時館内を巡回しました。

・業務的サービス

印刷物には、出来るだけ多くの方が見易いように使用フォントやサイズに配慮しました。

・施設サービス

車椅子用の専用駐車場には乗降がしやすいよう広いスペースを確保しています。

施設機材として身体の大きさに対応するため、サイズの異なる車椅子を常備しました。

階段には、段差がわかりやすいよう黄色のペイントを塗装しています。

施設内の案内表示は分かりやすいサインを設置しました。

4 施設の効用の最大限発揮について

(1) 趣旨

横浜文化体育館は、スポーツから文化まで多様なニーズに応えることができる横浜市を中心的な施設であり、その利用者の満足度をより高めることが重要な課題であると考えています。指定管理者として次に掲げた項目の取組を積極的に展開し、多くの市民から愛され、親しまれる施設にしていきます。

(2) 取り組み内容

ア 広報・利用促進活動

効率的な情報発信をするため次の内容を実施します。

(ア) 体育協会の管理施設等を利用した情報発信（チラシやポスター等の掲示）

(イ) ホームページの活用

(ウ) 地域情報誌の活用

(エ) 町内会・自治会など地域に密着した情報ネットワークの活用

(オ) PRボックス

また、教室事業やイベントの告知などは、対象エリアやタイムリーなタイミングなどを考慮し、効果的に利用者の拡大につなげていきます。

イ 大規模スポーツ大会やイベント、興行、コンサートの誘致

多くの市民が「見てみたい」と思う魅力あるスポーツ大会やイベントを誘致し、市民にとって憧れの施設となるよう魅力ある施設運営を目指します。

ウ 主催団体・利用者への支援

事前打ち合わせ、利用当日（会場セッティング）、催事運営時、会場撤収時、大会支援団体の紹介など催事の開催にあたって利用者目線に立ってアドバイスを行います。

エ 自主事業の計画

(ア) 利用団体向け事業

基本開館時間外貸出枠の設定や、利用者支援サービス事業、物品販売事業など利用する団体の利便性を高めます。

(イ) 教室等利用者向け事業

スポーツ教室事業、レンタル事業、物品販売事業など利便性の向上を図り、お客様の拡大を図ります。

(ウ) その他

自動販売機の設置や駐車場の24時間営業などを行います。

オ 利用者本位のサービス提供

お客様の安全・安心・快適を目指し、顧客満足度の高い施設運営を目指します。

4 施設の効用の最大限発揮について

(具体的取組内容)

ア 広報・利用促進活動

体育協会及び施設職員が管理している横浜文化体育館のホームページや、地域情報誌「タウンページ」、PRボックス、中区校長会でのPR他の公共施設へチラシ配布などを活用し、適宜情報発信しました。

また、新たに会議室の検索サイトに登録し、平沼記念レストハウスの利用促進を図りました。

イ 大規模スポーツ大会やイベント、興行、コンサートの誘致

市民にとって横浜のスポーツ・文化振興の中心的存在となるような魅力ある施設を目指し、各種団体との連携・協働により、全国規模の大会や興行などの誘致、利用調整を行い、当館での「する」「観る」スポーツ・文化イベントの誘致と開催支援を行いました。その結果、平成27年度には皇后盃全日本女子柔道選手権大会、アジア空手道選手権大会の開催が予定されています。また、例年開催されている全日本ジュニア体操選手権大会、ボリショイサーカスなどの各種大会・イベントが引き続き開催を予定しています。

ウ 主催団体・利用者への支援

約1~2か月前に事前打ち合わせを行い、利用当日の会場設営内容、催事運営時の状況、会場撤収時の確認などを行い、継続した利用団体は、安全面等を考慮した前回の反省点や改善点などを伝え、大会当日の運営をスムーズに行えるように各種提案やアドバイスを行いました。

エ 自主事業の計画

(a) 利用団体向け事業

大会・催事利用における行事運営や準備、撤収作業において基本開館時間外貸出枠を使用し、利用者の利便性向上を図りました。また、会場設営や撤去、警備業務や清掃作業、舞台操作や音響、照明操作など、円滑な催事運営を行うための各種支援サービス事業を実施しました。

(b) 教室等利用者向け事業

ボリショイサーカスや全日本ジュニア体操競技選手権大会等が開催される時期（7~8月）に、赤城林間学園へのキャンプ事業を実施しました。

また、室内用の靴や卓球ラケットなどのレンタル事業、卓球ボールなどの物品販売事業も行い、利用者の利便性向上を図りました。利用者支援サービスは3回利用されました。

(c) その他

引き続き自動販売機、駐車場やバイク駐輪場を設置し、24時間営業を行い、利用者サービスの向上を図りました。

オ 利用者本位のサービス提供

お客様にとって安全・安心・快適な施設運営を心がけ、顧客満足度の向上を目指した施設運営を行いました。単なる場所の提供だけではなく、利用者の立場に立った各種アドバイスやノウハウの提供などの側面支援も積極的に行い、きめ細かい利用者サービスを提供した結果、本館において90%以上の高い稼働率の実績を残しました。

4 施設の効用の最大限発揮について

(1) 広報・利用促進計画

ア 趣旨

横浜文化体育館で行うスポーツ情報、イベント情報等を地域に密着した幅広い情報ネットワークやホームページの活用、町内会・自治会との連携などにより効果的・効率的に発信します。

イ 具体的取組内容（実施事項）

横浜文化体育館で行うスポーツ情報、イベント情報等を効果的・効率的に発信します。また、基本開館時間の延長、一時託児保育の実施なども併せて行うことで、団体利用・個人利用の増加につなげていきます。

(ア) 横浜市体育協会のネットワーク

横浜市体育協会の情報ネットワークを活用した各種スポーツ団体、学校など不特定多数に向けた広報活動を展開します。

(イ) ホームページの活用

- a 横浜文化体育館専用ホームページを活用します。
- b 横浜市スポーツ情報サイト「ハマスポどっとコム」と連携し情報発信をします。

(ウ) 地域情報誌への掲載による周知

タウンニュースなど地域密着型の紙面媒体を活用します。

特に中区、西区等横浜文化体育館周辺地域を中心に、近隣にある横浜市技能文化会館等と連携しながら、定期的な周知を実施します。

（年4回以上：読売、朝日、毎日新聞などの媒体1回45,000部）

(エ) マスメディアの活用

- a ラジオ、新聞、テレビ等への情報提供と取材対応
- b 横浜市体育協会を通じて行う〈記者発表〉の活用

(オ) 公共施設 PR ボックス

市内外の公共施設をはじめ、当協会の管理運営施設、公共交通機関やPRボックスなどあらゆる機会・場所を利用し、チラシやポスターの掲出などを行い、効果的に広報します。

4 施設の効用の最大限発揮について

(1) 広報・利用促進計画

イ 具体的取組内容

横浜文化体育館のイベントスケジュールや各種スポーツ情報を効果的・効率的に発信しました。

また、大会や教室利用において、基本開館時間の延長、一時託児保育の実施なども併せて行い、団体利用・個人利用の利用促進を図りました。

(ア) 横浜市体育協会のネットワーク

横浜市体育協会の組織的なスケールのメリットを活かし、各加盟団体などのネットワークを活用した「イベント情報」や「教室募集」等の広報活動を各種媒体で展開しました。

(イ) ホームページの活用

- ・横浜文化体育館専用ホームページを適宜更新しました。

【横浜文化体育館 HP アクセス数】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
平成26年度	28,685	30,908	40,873	47,259	44,011	25,105
平成27年度	29,509	29,769	31,107	44,001	39,527	68,477

	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	31,457	29,921	23,242	25,504	35,169	48,050	410,184
	31,616	35,038	27,121	25,145	30,273	34,472	426,055

- ・横浜市市民局ホームページと横浜文化体育館の施設情報が掲載されている「ハマスポどっとコム」とのリンクを行いました。

(ウ) 地域情報誌への掲載による周知

- ・有料地域情報紙「タウンニュース」や「ぱど」等と契約し、横浜文化体育館周辺地域を中心に、教室などの情報を定期的に広報・PRしました。

（タウンニュース 1回掲載：45,000部、ぱど 3回掲載：1回 50,000～80,000部

まみたん 1回 50,000部）

(エ) マスメディアの活用

- ・タウンニュースに情報提供を行いました。
- ・新聞折り込みによるチラシ配布を2回実施しました（1回32,400部）。

(オ) 公共施設 PR ボックス

- ・当協会の管理運営施設をはじめ、市内外の公共施設やPRボックスなどを利用し、チラシやポスターの掲出など、効果的に広報を行い、新たな参加者層の獲得に努めました。

4 施設の効用の最大限発揮について

(2) 大会・イベント・興行・コンサート等の誘致計画

ア 趣旨

トップアスリートの大会も開催される横浜文化体育館が、多くの市民アスリートにとって、憧れの存在となるような魅力ある施設にしていきます。

イ 具体的取組内容（実施事項）

(ア) 人気のスポーツや文化イベントの興行を開催します。

- a 収益性の高い大会・イベントの誘致・集客利用人数の増大を図ります。
- b トップアスリートや芸術家のパフォーマンスを堪能できる機会をつくります。
 - b j リーグ（バスケットボール） ■ プロレス ■ 格闘技
 - プロボクシング ■ サーカス ■ コンサート など

(イ) 国際大会から全国大会まで、市民に注目される大規模な大会を誘致開催します。

トップアスリートのプレーに接する機会となる大会イベントを誘致します。

【誘致例】

- 国際ジュニア体操選手権大会
- 皇后盃全日本女子柔道選手権大会
- JOC 全日本ジュニア体操選手権大会
- 実業団日本リーグ（バスケットボール NBL、卓球）
- ジャパンオープン・荻村杯国際卓球選手権横浜大会
- 空手アジア大会（27年9月開催）

(ウ) 全日本級の大会を誘致開催します。

それぞれの分野で日本一を決定する大会・イベントを誘致します。

- JOC ジュニアオリンピック杯（レスリング、体操）
- 家庭婦人卓球大会など各種レクリエーション大会
- 美容・理容コンテスト など

(エ) 関東大会から市民大会まで幅広い大会・イベントを誘致開催します。

- a 多くの市民に大会やイベントに「する」「みる」機会をつくります。
- b 各種目団体と連携を図り、スポーツ人口底辺の拡大を図ります。
- c 憧れの人（選手）や団体（チーム）と同じ場所で活動する機会をつくります。
- d 市民の健康体力づくりを支援します。
- e 仲間づくりなどコミュニティの醸成を図ります。
 - 武道、卓球、バスケット各種スポーツ大会
 - ダンスや体操、マーチングバンドなどの発表会
 - 各種研修会 ■ コンテスト ■ 理容競技大会 ■ 書道展など展覧会
 - 学校の運動会 ■ 入学式・卒業式 ■ 演説会 ■ 研修会

4 施設の効用の最大限発揮について

(2) 大会・イベント・興行・コンサート等の誘致計画

具体的取組内容

(ア) スポーツや文化イベントの興行を開催しました。

【主な行事】

- ・ 国立ボリショイサーカス（7～8月）
- ・ b j リーグ（横浜ビーコルセアーズ戦；10月、12月）
- ・ プロレスリング（5月、8月、12月、1月）

(イ) 世界レベル、全日本レベル、実業団などの大会を開催しました。

【主な行事】

- ・ 皇后盃全日本女子柔道選手権大会（4月）
- ・ アジア空手選手権（9月）
- ・ JBLバスケットボール横浜大会（12月、3月）

(ウ) 全日本級の大会を開催しました。

【主な行事】

- ・ JOC ジュニアオリンピックカップ全日本ジュニアレスリング選手権大会（4月）
- ・ 全日本ジュニア体操競技選手権大会（8月）
- ・ 2015 国際ジュニア体操競技会（9月）

(エ) 多くの市民が参加できる各種大会・イベントを開催しました。

【主な行事】

- ・ 各種目市民大会
- ・ 体操フェスティバル 2015
- ・ 第2回横浜文化体育館フットサル大会

4 施設の効用の最大限発揮について

(3) 利用者に対しての支援策

ア 趣旨

大会等の開催にあたっては、予め主催者と綿密な打ち合わせを行い、運営全般にわたって利用者目線で適切なアドバイスを行います。

イ 具体的取組内容（実施事項）

スポーツ関連機材の設置やスポーツフロア等の各種設営については、ノウハウを持つ施設職員が、舞台装置や音響設備の操作については、専門業者に委託することで万全な体制を整えます。

主催者が会場設営や運営に携わる人的担保ができない場合は、利用者支援サービス（有料：セット料金）を提供し、大会の準備から撤収作業まで主催者を完全サポートします。

(ア) 事前打ち合わせ



(イ) 利用当日（会場セッティング）

会場セッティングの支援	
■ アリーナ	<input type="radio"/> 管理運営スタッフが現場で直接の設営作業を支援 <input type="radio"/> スポーツ機材の設置やスポーツフロアの各種設営について的確に指示
■ 舞台周辺	<input type="radio"/> 舞台装置や音響設備の設営は、専門技術を有するスタッフが支援 <input type="radio"/> 舞台装置の使用方法から横断幕の設置、用具の設置方法などを確認
■ ロビー	<input type="radio"/> 正面入口における受付及びロビーでの物品販売ブース設営の支援を実施 <input type="radio"/> 来館者が多く混雑が予想される場合は誘導線を設置

4 施設の効用の最大限発揮について

(3) 利用者に対しての支援策

具体的取組内容

施設に付帯するスポーツ関連機材は、施設職員による点検・管理によって利用者への貸出及び設営の支援を行いました。また、舞台装置・音響設備の操作については専門業者である横浜アーチストに委託し、利用者のニーズに対応しました。

主催者が会場設営・準備等の人的確保が困難な場合に対応するために、会場設営を代行する利用者支援サービスを運用し、平成27年度は3回の利用実績がありました。

(ア) 事前打ち合わせ

利用団体と約1~2か月前に事前打ち合わせを行い、利用当日の会場設営内容、催事運営時の状況、会場撤収時の確認など行いました。また、過去から継続して利用されている団体においては、前回の反省点や改善点などを伝え、大会当日の運営をスムーズに行えるよう各種提案やアドバイスを行いました。

機材の設置や各種設営は、事前の打ち合わせで施設の使用方法や貸し出し物品、音響・照明等機材の使用や届け出書類など、開催する上で不備が無いか確認しました。

大規模な大会の打ち合わせでは、設営等の委託業者も交え打ち合わせを行い、細部にわたる事前確認を行いました。

さらに、必要に応じて、警察や消防、行政機関などへの各種届出等についても確認をしました。

安全確認は、設営物の安全確認、災害時の避難経路、誘導人員、誘導体制、震災時の対応方法、参加者への周知方法なども含め、事前の確認や準備を行いました。

特に、地震対応については「地震対応フロー」に即し、見ながら打ち合わせ・確認するなどの対応を行いました。

(イ) 利用当日対応（設営）

利用当日、設営時には、場内担当として職員を配置し、安全性の確保や円滑な作業方法などについて、適宜、アドバイスや指導を行いました。

具体的には、搬入や設営をスムーズに行うための指導、施設設備（フロアや壁面等）の損傷防止や倉庫からの物品搬出・搬入方法の指導、設営物の事故防止（危害を及ぼさないか、避難導線が確保できているか）の指導などを行いました。

4 施設の効用の最大限発揮について

(3) 利用者に対しての支援策

(ウ) 催事運営時

円滑な催事運営の支援

■進行状況に応じたフレキシブルな対応	○ 空調関係ではこまめな温度調節並びに手作り特製網戸による微妙な風量調節、風向調整を実施 ○ 催事運営においてレイアウト変更の際は、安全かつ円滑な運営を的確に支援
■音響・照明	○ 舞台装置や音響設備の操作では、主催者の様々な演出ニーズを的確に捉え、より魅力ある催事演出を支援
■場内巡回	○ 適宜場内巡回を実施し、安全かつスムーズな催事運営が実施されているかを確認 ○ ロビー、トイレ、休憩コーナー等の清掃を適宜実施
■緊急時対応	○ 傷病者が発生した際は主催者と連携した救急車要請及び誘導を実施 ○ 火災、地震等の災害時は災害ニュアルに沿て来館者の安全を最優先に速やかに避難誘導を実施
■神奈川県警察との連携	○ 神奈川県警察との連携により大会やイベントの開催に支障が出ないよう、妨害行為を行う団体をコントロール(交通規制他)

(エ) 会場撤収時

会場撤収作業の支援

■安全な退場誘導	○ 催事終了後は多くの来館者が一斉に退館するため、正面出入口が混雑し、危険が生じるため、安全な退館誘導を支援
■使用機材の収納	○ 貸出した機材等に関しては収納方法等を的確に指示し、次の利用に向け丁寧に収納。その際に破損などをチェックし、安全管理を徹底
■場内清掃	○ 基本的には主催者による清掃実施ですが、大規模な催事においては主催者のみでは清掃が困難なため、施設清掃委託業者による館内清掃を支援
■最終点検	○ 撤収完了時に施設職員による終点検を実施：忘れ物や施設破損を確認。また、次回の利用時に円滑な運営が実施できるよう助言

(オ) 大会支援団体の紹介

飲食の提供やケータリング、試供品・割引券の提供、宿泊施設・観光スポット・スポーツセンター・物販業者の紹介などを行います。これにより、主催者・参加者にも喜んでいただけるような取組みを行います。

(カ) メモリアルコーナーの開設

1962年東京オリンピック横浜開催時の記念展示や横浜文化体育館を会場に実施された大規模大会はもとより、横浜市内で実施された各種大会の記念品や情報等を収集、展示し、その功績を多くの来館者に周知します。

4 施設の効用の最大限発揮について

(3) 利用者に対しての支援策

(ウ) 催事運営時対応

催事開催中は、円滑で安全に大会運営ができるように、職員が適宜巡回し、主催者側と状況確認や対応策の検討など情報共有とアドバイスを実施しました。

(エ) 会場撤収時対応

撤収時は、場内担当として職員を配置し、施設や設備、貸し出し物品の確認とともに、撤収作業をサポートしました。

(オ) 大会支援団体の紹介

興業イベントの割引券・中華街の観光パンフレット・横浜みなと博物館/帆船日本丸パンフレット、横濱ガイドマップの提供。

(カ) メモリアルコーナーの開設

JOC ジュニアオリンピックカップ 2015 全日本ジュニア体操競技選手権大会開催時に関係者から借り受けたメダルやジャケットを展示しました。

4 施設の効用の最大限発揮について

(4) 自主事業計画

ア 趣旨

基本開館時間外貸出枠の設定や大会利用における利用者支援サービスの提供、スポーツ教室事業の実施、自動販売機の設置など利用者の利便性の向上を図り、利用者拡大を目指します。

イ 具体的取組内容（実施事項）

(ア) 利用団体向け事業

a 基本開館時間外事業（時間延長）

基本開館時間外貸出枠の拡大として、早朝・深夜（午前9時以前、午後10時以後）の開館時間外の貸出に対応します。レストハウスについても本館催事の設営・撤収作業にあわせて、深夜・早朝の貸出延長に柔軟に対応します。

(イ) 利用者支援サービス事業

主催団体（利用者）が、イベント会場の設営・撤去や諸準備などに要するノウハウ及びそれを行う関連会社が担保できない場合など、希望に応じた利用者支援サービス（有料）を提供し、大会成功に向けた支援をします。

a 設営・撤去・会場設営・撤去作業

b 警備業務

c 清掃作業

d 舞台操作・舞台照明・音響操作

(ウ) 利用者向け事業

a スポーツ教室事業（別紙参照）

平成25年度実施教室を基本として、平成27年度は新規事業を加えて実施します。新規事業としては、文体主催教室の指導者との連携により、幅広い市民を対象とした「文体FUNウォーキング」を実施します。

b レンタル事業

仕事や学校帰りにも、気軽にスポーツが実施できるようスポーツ用具などのレンタル事業を行い、利用者の利便性を高めます。（体育館用シューズ）

(エ) 物品販売事業

自動販売機による飲食物などの販売を行います。

販売品目は、飲料水を中心としますが、利用者の利便性を配慮してパン・菓子など食品の販売機も設置します。

その他、卓球ボール、養生テープなどを販売します。

4 施設の効用の最大限発揮について

(4) 自主事業計画

具体的取組内容

(ア) 利用団体向け事業

次の事業を展開し、利用者の利便性向上を図りました。

・ 基本開館時間外事業

基本開館時間（9:00～22:00）の前後1～2時間を目安に、設営時の早期入場や撤収時の時間延長などに対応しました。

(イ) 利用者支援サービス

サービスの具体的な項目（養生シートや椅子の設営、警備・清掃など）と料金を設定し、利用団体に周知・PRを図るとともに、催事運営のサポートサービス提供を実施しました。

(ウ) 利用者向け事業

大会利用者、教室利用者のために次の事業を行いました。

・ スポーツ教室事業

夏期の教室が実施されていない期間において、市外施設（赤城林間学園）を活用し、子どもを対象としたキッズキャンプ事業とバスケットボールキャンプ事業を実施しました。また、文体ウォーキングとして10月に「三ツ沢周辺」3月に「築地周辺」で活動しました。

・ レンタル事業

卓球ラケット、運動靴のレンタルを行い、学校や会社の帰りに気軽に事業参加できるようサービス提供事業を行いました。

(エ) 物品販売事業

自動販売機によるドリンク類、お菓子やパンなどの軽食の販売を行いました。

スポーツ教室等で使用する卓球ボールなどの販売を行いました。

4 施設の効用の最大限発揮について

(4) 自主事業計画

(オ) 駐車場事業

a 一般利用者・観覧者用コインパーキング

平沼記念レストハウス下駐車場（第1駐車場）と南側駐車場（第2駐車場）にフランプ式駐車管理システム導入の24時間対応コイン式有料駐車場を運営します。利用料金については、15分100円（夜間は30分100円）とし、周辺の駐車場とのバランスを考慮しています。

北側駐車場 12台 南側駐車場 15台

b 大型車専用駐車場

正面駐車場は、現在大型バス等の専用駐車場として利用します。

駐車場システムの導入は行わず、バスやトラックなどの大型車用専用駐車場として運用します。

正面 5台

c 主催者専用駐車場

主催者専用駐車場を前庭南側部分に設けることで、運営スタッフの利便性を高めます。なお、主催者、障がい者、物品搬入業者等に対しては、横浜市の減免規定により駐車料金を免除します。

d オートバイ専用コインパーキング（正面右側 13台）

オートバイ用のコインパーキングを設置して、利用者の利便性の向上と放置バイクによる周辺通行者の迷惑緩和を図ります。

（1時間 100円）

ウ 教室事業一覧

当施設の空きコマや空きスペースを有効活用し、市民の健康体力づくりを目的として、市民ニーズに応じたスポーツ教室、カルチャースクールなど多彩なプログラムを提供していきます。

また、参加の少なかった教室を新規教室に変更するなど一人でも多くの市民参加が可能となるように進めます。

4 施設の効用の最大限発揮について

(4) 自主事業計画

(オ) 駐車場事業

a フラップ式駐車管理システムにより、24時間対応コイン式駐車場を運営しました。

レストハウス下(12台)、南側(15台) 計27台

収入 月平均 約140万円、年間 約1,700万円となりました。

b 大型車専用駐車場

全国・関東規模の大会、興行等のイベントなど大型バスや大型トラックによる搬入が行われる場合に、正面入り口前のエリアを大型車専用駐車場として運用しました。

c 主催者専用駐車場

大会運営の利便性を図るために、主催者専用駐車場を設定し、事前申請により管理し、無料で提供しました。

d オートバイ専用駐車場

引き続きオートバイ専用駐車場を開設し、自転車とバイクの仕分けを行いました。

平成27年度 横浜文化体育館 教室事業 一覧(案)							
No.	教室名	新規	種別	対象	曜日	時間帯	参加費 *1回あたり
会場 定員							
I スポーツ							
1	らくらくフィットネス	定期	18歳以上	月 午前	1,020円	トレーニング室	20
2	ちびっこバレエ(3歳児)	定期	3歳児	月 午後	820円	トレーニング室	25
3	ちびっこバレエ(4-6歳児)	定期	4-6歳児	月 午後	1,020円	トレーニング室	25
4	キンダーバレエ	定期	小学生	月 午後	1,230円	トレーニング室	15
5	ピラティス(リメディ)	定期	18歳以上	月 午後	2,050円	レスト3号室	10
6	ダブルダッチ(上級)	定期	小学生以上	月 夜間	820円	レスト3号室	15
7	シニアバレエ	定期	概ね50歳以上	月 午後	1,020円	レスト4号室	10
8	フラダンス(月曜日)	定期	18歳以上(女)	月 午後	1,230円	レスト4号室	20
9	ジュニアHIP-HOP	定期	小学生	月 午後	610円	レスト4号室	20
10	ダブルダッチ	定期	小学生以上	月 午後	610円	レスト4号室	20
11	フラメンコ	定期	18歳以上	月 夜間	2,050円	レスト4号室	15
12	カラダ塾(名称変更)	特別	18歳以上	月 午後	1,230円	トレーニング室	10
13	護身術	特別	18歳以上	月 夜間	510円	ロビー	20
14	初めてのヨガ	定期	18歳以上	火 午前	1,020円	レスト3号室	15
15	やさしいヨガ	定期	18歳以上	火 夜間	1,230円	レスト3号室	15
16	すっきりシェイプアップ	定期	18歳以上	火 午前	1,020円	トレーニング室	20
17	にこにこヘルスアップ体操	定期	中高年	火 午後	820円	トレーニング室	20
18	マニャーナフラメンコ	定期	18歳以上	火 午前	1,540円	レスト4号室	15
19	社交ダンス	定期	18歳以上	火 午後	1,020円	レスト4号室	20
20	フラダンス(火曜日)	定期	18歳以上(女)	火 夜間	1,230円	レスト4号室	20
21	一時保育	特別	未就学児	火 午前	510円	本館5号室	5
22	気功太極拳(月曜日)	定期	18歳以上	月 午前	510円	本館ロビー	49
23	気功太極拳(火曜日)	定期	18歳以上	火 午前	510円	本館ロビー	49
24	ヨコハマ卓球練習の日	特別	小学生以上	月 1日	510円	アリーナ	300
25	バスケットボールタイム(小学生)	特別	小学生	火 夜間	610円	アリーナ	50
26	バスケットボールタイム(中学以上)	特別	中学生以上	火 夜間	820円	アリーナ	30
27	刃渡ふれあいけん(小学1~3年)	特別	小学1~3年	火 夜間	1,020円	アリーナ	30
28	刃渡ふれあいけん(小学4~6年)	特別	小学4~6年	火 夜間	1,020円	アリーナ	30
29	刃渡ふれあいけん(18歳以上)	特別	18歳以上	火 夜間	1,230円	アリーナ	20
30	ヨコハママラソンザーフ(幼児)	定期	4-6歳児	火 午後	920円	トレーニング室	15
31	ヨコハママラソンザーフ(1~3年生)	定期	小学1~3年	火 午後	1,020円	トレーニング室	20
32	体操教室(親子体操:ワサギ)	定期	2歳児と親	火 午前	820円	アリーナ	35組
33	体操教室(親子体操:パンダ)	定期	1.3~2歳未満と親	火 午前	820円	アリーナ	30組
34	体操教室(親子体操:コアラ)	定期	0.5~1.6歳児と親	火 午前	820円	レスト4号室	20組
35	体操教室(モーニングフィットネス)	定期	18歳以上	火 午前	510円	アリーナ	110
36	体操教室(卓球)	定期	18歳以上	火 午前	510円	アリーナ	120
37	体操教室(バドミントン)	定期	18歳以上	火 午前	710円	アリーナ	30
38	体操教室(シニアフィットネス)	定期	60歳以上	火 午後	410円	アリーナ	180
39	体操教室(いきいきフィットネス)	定期	18歳以上	火 午後	510円	アリーナ	100
40	体操教室(幼児スポーツ)	定期	3~6歳(未就学児)	火 午後	820円	アリーナ	80
41	体操教室(ジュニアスポーツ)	定期	小学生	火 午後	820円	アリーナ	100
42	大人のためのバレエ(新規)	○定期	18歳以上(女性)	月 午前	1,020円	レスト4号室	15
43	ベビーボディ(新規)	○定期	3ヶ月以上の子と保護者	月 午後	820円	トレーニング室	20
II カルチャー							
44	基本を学ぶ書道	特別	18歳以上	月 午前	2,050円	レスト1号室	10
45	初心者のための油絵	定期	18歳以上	月 午後	2,050円	レスト2号室	10
46	初心者のための絵手紙	特別	18歳以上	火 午前	2,050円	レスト1号室	10
47	楽しく編む藤	特別	18歳以上	火 午後	3,590円	レスト1号室	10
48	アメリカンフラワー	特別	18歳以上	火 夜間	3,590円	レスト2号室	10
III 自主事業							
1	文体FUNウォーキング	特別	16歳以上	火 午前	500円	文化体育館周辺	150
2	バスケットボールリマーキャンプ	特別	小・中学生	水~金 2泊3日	27,000円	赤城林間学園	40
3	キッズキャンプ	特別	小学生	水~金 2泊3日	25,000円	赤城林間学園	40
4	医科学センター連携事業(新)	○特別	16歳以上	火 午前	500円	レストハウス	45
5	文化系イベント教室(新)	○特別	小学生以上	日 午前	2,500円	レストハウス	20

4 施設の効用の最大限発揮について

教室事業については、催事利用の少ない月曜日、火曜日に、本館アリーナやトレーニング室、平沼記念レストハウスなどを活用して、「BUNTAI スポーツ&カルチャー教室」を実施しました。

実施に関しては、各種団体や関係組織と連携を図り、地域指導者を活用しながら、初心者から上級者、幼児から高齢者まで幅広い世代を対象に開催しました。

今年度も昨年に引き続き、横浜市の重点施策の一つでもある「子育て支援」、「子どもの体力向上」を中心に取組み、子どもを対象とした教室を中心に参加者数が伸び好調でした。

カルチャー教室に関しては、平沼記念レストハウス会議室を中心に開催し、平沼記念レストハウスの周知・PRと利用率の向上を図ることも目的の一つとして実施しました。その結果、約65% (平均値) のレストハウス利用率となり、前年レベルを維持できました。

夏の「バスケキャンプ」や「キッズキャンプ」は、昨年に引き続き実施し、参加者からは好評を得ています。

全体的な教室事業の実施状況については、収支状況や参加者数などから見ると概ね良好に事業を実施しました。個別ごとの教室事業についてみると収支が取れないものや参加者数の落ち込みが見られます。特に文化系の教室や夜間の社会人向けの教室が参加者数の伸び悩み傾向が見られます。それらの教室事業は、参加者のニーズを調査、分析し、内容や料金の見直し、事業転換を図るとともに、広報・周知についても見直しを図り、様々な媒体を活用し効率的なPRを検討、実施します。

詳細については、別紙教室事業報告書様式33を参照。

5 施設管理について

横浜文化体育館は、東京オリンピック以来数々のスポーツ・イベントを行ってきた50年に
およぶ歴史を持つ体育館です。

そして、歴史とともに施設は老朽化し、修繕するための部品調達や更新するための予算など
課題があります。

施設を管理・運営していくために、利用する側の視点に立ち、利用者の「安全・安心・快適」
を目指し、今まで培ってきたノウハウを駆使し、老朽化している施設・設備を管理し、利用者
に愛される施設を目指します。

経年劣化による不具合や故障などに対し、マニュアルに基づく職員や委託業者による日々の
点検、施設点検日を設定した法定点検など計画的に実施します。

軽微な修繕は、職員で対応するなど効率的に実施し、100万円以内の小破修繕は計画的で最適
な修繕を実施します。

大規模な修繕は、横浜市と協議し、利用団体に影響が出ないように計画を立て、施設を常に
良好な状態で使用していくことを目指します。

また平成25年度には、横浜市による大規模な施設設備の改修・修繕工事が実施されました
ので、適切な保守点検等を行い、その機能を維持することに努めます。

老朽化している施設であっても、来館者にとって「また来たい」「きれいな施設」と思われる
よう環境衛生面においても良好な状態に維持するため、トイレなどの水回りやオープンスペー
スとなっている外周など、マニュアルに基づいた日常清掃や計画的な定期清掃を実施します。

また、毎年行われている体操競技の炭酸マグネシウム清掃やボリショイサーカスにおける糞
尿清掃などの特別清掃も対応していきます。

外周に植えられている植栽管理は、清掃と併せて日常的に除草・散水を行い、清潔感を前面
に打ち出し、剪定や薬剤散布など季節や利用状況に応じて計画的に実施します。

施設全体を管理・運営する上でコスト意識をもち、効率的・効果的な予算執行をしていきま
す。

5 施設管理について

実施項目

利用者の「安全・安心・快適」を目指し、職員の持つノウハウを活かし、施設・設備の管理を
実施しました。

- (1) 施設の日常点検
- (2) 定期点検
- (3) 日常清掃
- (4) 定期清掃
- (5) 特別清掃
- (6) 職員による仮補修
- (7) 業者による修繕
- (8) 日常的な植栽管理
- (9) 定期植栽管理
- (10) その他

詳細は、次項目以降に記載します。

5 施設管理について

(1) 施設の点検計画

ア 趣旨

設備・施設が老朽化し、経年劣化による不具合や故障などに対し、お客様の安全・安心・快適を目指し、日々の点検、法定点検などメンテナンスを計画的に実施します。

イ 具体的取組内容（実施事項）

(ア) 日常点検

- a マニュアルに基づき職員自ら巡回点検
- b 毎日 27 項目の点検チェックシート（清掃作業記録）により目視点検を実施
- c 変電設備や熱風炉、舞台装置等の専門知識が必要な設備の日常点検は、常駐の委託業者が行い、職員が点検結果を確認
- d 点検における危険箇所などの発見時には、直ちに応急処置を行うとともに、横浜市と連絡を密にして対応
- e 即時対応と全職員への周知

(イ) 施設点検日

施設の安全を確保するため、アリーナなどの予約状況を考慮しながら、月 1 回程度の施設点検日を設定し、専門設備の定期点検のほか、小破修繕、定期清掃等を実施

(ウ) 定期点検

横浜市建築局が策定する「施設の維持保全の手引き（仮称）」及び「施設点検マニュアル」に基づき、施設・設備の定期的な点検を行います。

a 法定点検

法で定められている建築物の昇降機及び昇降機以外の建築設備、消防設備、自家用工作物など点検を実施します。

b 指定点検

横浜市で定めた簡易点検の方法に従って定期的な点検を行います。

c 設備点検

横浜市で定める「施設の維持保全の手引き」及び「施設点検マニュアル」に従って定期的な点検を行います。

5 施設管理について

(1) 施設の点検計画

具体的取組内容

(ア) 日常点検

- ・施設内外の巡回点検をマニュアルを活用し実施しました。
- ・毎日 27 項目の点検内容について、チェック表に基づき職員が目視点検を実施しました。
- ・設備日常点検
電気設備、舞台装置など常駐する委託業者による日常点検を実施しました。
- ・異常時の対応

日常点検によって発見された不具合や危険箇所は、職員および委託業者によって応急処置を行った上で、必要に応じて、専門業者に連絡を取り適切な修理、修繕を行いました。また、横浜市へ適宜状況報告を行い、調整を図った上で、必要な対策等を講じました。

・職員への告知

不具合や危険箇所などを発見した場合は、即座に無線等を使用し、職員・委託業者へ報告連絡をするとともに、定例で行われるミーティング等で状況を含め連絡・報告し、情報共有を図りました。

(イ) 施設点検日

原則月 1 回（合計 13 回）施設点検日を設け、専門業者による定期点検、小破修繕、定期清掃等を実施しました。

(ウ) 定期点検

月 1 回程度の施設点検日を中心に、点検業務スケジュールをもとに計画的に定期点検を行いました。

・冷房定期点検（4・5・6・7・8・9・10 月）	・空気環境測定（4・6・8・10・3 月）
・自家用電気工作物点検（4・6・8・10・12・2 月）	・車椅子用昇降機保守点検（6・9・3 月）
・車椅子用トイレ自動ドア点検（5・8・11・3 月）	・ガス遮断（5 月）
・冷却塔のレジオネラ症予防点検・清掃（7・8・9 月）	・舞台吊り物機構定期（6・11 月）
・バイク駐輪場設備機器点検（7・11・3 月）	・舞台照明設備点検（7 月）
・舞台音響設備点検（7・3 月）	・消防設備点検（7・3 月）
・中圧低圧ガス設備点検（7 月）	・熱風炉設備点検（9 月）
・熱風炉窒素酸化物・ばいじん測定実施（11・1 月）	・蒸気ボイラー点検実施（10 月）
・連結送水管耐圧試験（3 月）	・バスケゴール点検（3 月）

5 施設管理について

(1) 施設の点検計画

点検業務予定表												
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
日常点検	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
音響・照明・舞台機構操作点検	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
警備業務	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
駐車場警備業務	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
舞台照明保守点検業務					■				■			■
舞台吊物機構保守点検業務		■						■				
一般廃棄物処理委託業務	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
車椅子用昇降機保守点検業務		■			■		■		■		■	
アリーナ冷暖房設備賃借	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
熱風炉窒素酸化物測定業務										■		
非常用自家発電設備点検業務												
音響設備精密点検業務										■		
消防設備保守点検業務			■						■			
障がい者用トイレ自動ドア保守点検業務		■				■			■			
自家用工作物の保安管理業務	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
熱風炉と加温ボイラーの開閉栓		閉					開					
建築物法令点検								■				

5 施設管理について

(1) 施設の点検計画

点検業務は予定通り実施しました。

5 施設管理について

(2) 修繕計画

ア 趣旨

施設を利用する方々の安全・安心・快適のために、ファシリティーマネジメント体制による計画的で最適な修繕を実施します。

イ 具体的取組内容（実施事項）

(ア) 修繕予算

修繕予算は 626 万円を計上

（626 万円の内訳：建築設備 540 万円、体育機器 32 万円、駐車場設備 54 万円）

横浜文化体育館の施設・設備の機能を良好に維持していくための努力を惜しまず、事業収益は可能な範囲で施設管理経費に還元していきます。

(イ) 小破修繕

- a 100 万円までの小破修繕は、安全かつ短期間で安価な工法を工夫しながら、効果と効率性を考慮して実施します。
- b 日常的に発生する軽微な不具合箇所等に対しては職員自ら迅速に対応し修繕経費を節減します。
- c 観覧席の 1 ブロックエリアごとの集中点検を日々計画的に実施し、座面からのバネの飛び出しや椅子取付部金属疲労による断裂などを早期に発見し事故の防止を実施します。

(ウ) 大規模修繕や施設・設備機能を良好に維持するための取組み

平成 26 年度から横浜文化体育館の再整備計画の検討が進められており、大規模修繕や改修等が必要な箇所について横浜市と協議し、修繕工事などを計画的に実施します。

また、施設利用率が高いため工事スケジュールや利用団体との調整、現場立ち会いの協力をを行い、横浜文化体育館の施設・設備の機能を良好に維持します。

a 給排水設備の修繕

給水設備に関しては、平成 25 年度に横浜市による改修工事が実施されたので、適切な保守点検等を実施し、その機能を維持していきます。

排水設備に関しては、老朽化のため漏水や破裂などの危険性が引き続きあるため、緊急時の対応方法や更新方法などの方向性を定め、改善を実施していきます。

b 雨漏り対策

平成 24 年度に横浜市による屋根防水修繕が実施されましたが、老朽化が進んでいるため、継続して保守点検を行い、不測の事態に対応していきます。

5 施設管理について

(2) 修繕計画

具体的取組内容

「安全・安心・快適」を目指し、施設利用者に極力影響が出ないように、イベント内容、使用エリアなど様々な状況を確認し、修繕内容と行程等打ち合わせを行い、施設・設備の修繕を行いました。

(ア) 修繕予算

修繕費は約 930 万円を執行しました。

(イ) 小破修繕

職員・委託業者で対応ができない 100 万円以下の修繕は、業者に依頼しました。

【主に職員が行った内容】

- ①椅子の修繕 ②階段・壁等の色塗り ③カーペットの張り替え ④その他

【業者に依頼した内容】

・「通路誘導灯」交換（4月）	・「南 1 非常口ドアガラス」修繕（4月）
・「自動火災報知機」交換（5月）	・「厨房整理棚」設置（5月）
・「南側屋外非常階段」修繕（5月）	・「駐車場精算機コインメック」交換（5月）
・「南 1・2 倉庫」改修（6月）	・「救護室・防炎カーテン」設置（6月）
・「観客席の座面・背板」張替え修繕（6月）	・「南駐車場バリカー」交換（6月）
・「防犯カメラ No6・No7」交換（6月）	・「観客席の背板」張替え修繕（7月）
・レストハウス「2 階廊下・ブラインド」交換（7月）	
・南北駐車場「フラップ板感度」調整（7月）	・本館「非常照明バッテリー」交換（8月）
・「北 2 非常口扉・電気錠」交換（7・8月）	・「4 号室壁・踏込床」修繕（7・8月）
・「南 2 倉庫扉」交換（9月）	・レストハウス「4 号室・床パネル収納」設置（9月）
・「トイレ・フラッシュバルブ及び水栓」交換（9月）	
・身障者トイレ漏水修繕工事（10月）	・レスト 2 階廊下扇風機取付工事（10月）
・C 型コンセント修繕工事（10月）	・南駐車場プリンター交換工事（10月）
・レスト駐車場障害者用看板補強工事（11月）	
・アリーナ扉フック修繕工事（11月）	・レスト特別室（天井・床・扉）修繕工事（12月）
・レスト駐車場・サービス券システム交換工事（1月）	
・北-2 非常口通路床修繕工事（L=12～13m・塗装別途）（1月）	
・北 2 出入床段差解消工事（1月）	・プラカード補修工事（1月）
・入金機修繕工事（3月）	・2 階席消火器箱設置工事（東北・東南）（3月）
・南 2 ドアストッパー補修工事（3月）	・北 2 非常口床アスファルト水溜り手直し（3月）

5 施設管理について

(2) 修繕計画

c 舞台関係設備

平成 25 年度に横浜市による照明・音響装置の設備更新工事が実施されたので、適切な保守点検等を実施し、その機能を維持していきます。

設備の更新がされていない舞台吊り物機構などの専門性が高い機器類や観覧席に関しては、老朽化が進んでいます。さらに、天井裏のキャットウォークの足場が板式の旧型で手すりも無く不安定な状態です。安全・安心を確保していくためにも点検等において確認し、更新方法などについても横浜市と調整を進めていきます。

(エ) 空調設備設置計画

ロビーとアリーナ冷暖房機器は、老朽化が進み、人によるきめ細かいメンテナンスが欠かせません。月に 1 度行っている清掃に加え必要に応じたメンテナンスを行っていきます。

a アリーナ冷房

アリーナの冷房器は、水冷パッケージ形エアコンをレンタル設置します。

b アリーナ暖房

アリーナの暖房については、平成 17 年に自動停止装置を取り付け、安全性を高めており、現行設置のボイラーをメンテナンスして継続使用します。熱風炉を含めベルトのゆるみが生じないよう適宜点検します。

c ロビー冷暖房

ロビーは、冷暖房可能なガス式空調機をリースで継続設置、使用します。

5 施設管理について

(2) 修繕計画

(ウ) 大規模修繕、施設延命への取り組み

適宜、横浜市と連絡、打ち合わせを行い、横浜市の文化体育館の設備更新や修繕の考えを確認しながらすすめました。

(エ) 空調設備設置計画

アリーナ空調設備は、レンタル、リースにより設置しました。

老朽化が進んでいるため、施設点検日に行う定期的な清掃とメンテナンス、日常点検など適宜行いました。

① アリーナ冷房 水冷パッケージ型エアコンをレンタル設置

② アリーナ暖房 ボイラーを使用した暖房機

③ ロビー冷暖房 ガス式空調機リースによる設置

(オ) その他、横浜市との調整

その他舞台吊りもの設備、天井、観客席など施設・設備面において、修繕や備品更新など老朽化対策が必要なものがあり、今後の取り組みや実施内容等について横浜市と調整を図っています。

5 施設管理について

(3) 清掃計画

ア 趣旨

来館者にとって健康や快適性を損なうことなく、環境衛生上良好な状態を維持するために清掃・外構・植栽の管理を実施します。

イ 具体的取組内容（実施事項）

(ア) 日常清掃

館内と外構の清掃を毎日実施。特にトイレ、更衣室内シャワー室等の水周りは、清掃後、チェック表を用いて、館内美化を徹底します。

(イ) 報告・点検・指示

管理担当者は、委託業者から毎日チェックリストの提出による報告を受けるとともに、定期的に巡回点検を行い、作業内容を指示します。

(ウ) アリーナ床面清掃

アリーナの床面は、状態を毎日チェックし、軽微な傷や汚れを除去しながら清掃します。清掃の際は、床面の品質保持のため、ワックスを用いず乾いたモップと専用洗剤による清掃を行います。

(エ) 定期清掃

a 施設点検日には、通常の利用時にはできないタイル床清掃（ワックスがけ等）、じゅうたん清掃、窓ガラス（日常清掃できない高所中心）、フィルター、汚雑排水槽、熱風炉、害虫駆除などの定期清掃を実施します。

b 各種設備については、これまでの実績に基づき年間計画のもと定期的に清掃を実施します。

c ロビー及びアリーナの冷房設備については、利用頻度の高い6~9月には、重点的に点検を兼ねた清掃を実施します。

清掃業務予定表

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
日常一般清掃	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
館外周辺清掃	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
大規模行事特別清掃	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
大規模行事終了後清掃	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
ジョイントマット清掃	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
床定期清掃		■			■		■	■				
窓ガラス清掃			■			■						
絨毯清掃	■				■			■				
空気環境測定	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
汚雑排水槽清掃				■					■			
熱風炉及びアリーナ排送風機清掃					■							
館内消毒		■			■			■				
ブラインド清掃		■										
空調機フィルター清掃	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
アリーナ床面管理業務	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
ロビー清掃業務	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
冷暖房設備等電気設備運転業務	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■

5 施設管理について

(3) 清掃計画

具体的取組内容

(ア) 日常清掃、及び(イ)アリーナ床面清掃

施設利用者が、気持ちよく利用いただけるように、毎日、施設内外の清掃を行いました。

【施設内】

チェック表に従い、ごみや床面の汚れなどの除去を行いました。

- アリーナ床面チェック及び清掃（靴跡など床面の汚れ除去作業等）
- ロビー清掃
- トイレ清掃
- ロッカー内清掃
- 諸室清掃
- 廊下、階段清掃
- 観客席清掃
- レストハウス清掃
- その他

【施設外】

- 外周清掃（正面入り口・非常口周り、ごみ、枯れ葉などの除去）
- 施設チェック

(エ) 定期清掃

施設点検日にしかできない特別な清掃作業を行いました。

- 床面清掃（ワックスがけ、じゅうたん清掃など）
- 窓ガラス清掃
- 空調機のフィルター清掃
- その他

(オ) 臨時・特別清掃

- a 大規模催事終了後には、日常清掃に加えて、観覧席に重点を置いた臨時清掃を実施します。
- b 催事等終了後は主催者による原状復帰が原則ですが、必要に応じて、通常の清掃作業以外に特別清掃を実施します。
- c 催し物の内容によっては、特に汚染が予想される箇所に事前に汚染を防止するための防護被覆を設置するなどの工夫を実施します。

(a) 動物糞尿（サーカス）
駐車場に動物の檻が設置されるため撤収後に清掃・消毒を実施します。

(b) 炭酸マグネシウム（体操競技）
体操競技で使用する粉が床や空調機などに付着するため清掃を実施します。

(c) 血痕（格闘技）
床や通路に付着する血痕の清掃・消毒を実施します。

(d) 衣装（ダンス）
衣装のスパンコールや羽の清掃を実施します。

(3) 清掃計画

(オ) 臨時・特別清掃

イベント内容によって通常行われる清掃では除去しきれないものについて行いました。

- ①ボリショイサーカス終了後の糞尿清掃・消毒
- ②体操競技終了後の炭酸マグネシウムの除去作業
アリーナ内、観客席、ロビー・通路、空調設備など
- ③血痕清掃・消毒
プロレスは、流血することもあるため、使用個所に養生シートを設置しますが、防ぎきれないため、チェック及び清掃・消毒をしました。

① 衣装（ダンス）
ダンス大会後に、衣装のスパンコールや羽の清掃を行いました。

5 施設管理について

(4) 植栽計画

ア 趣旨

日常的に行う除草・散水など季節や利用状況に応じ適宜行い、剪定や薬剤散布など計画的に実施します。

イ 具体的取組内容（実施事項）

(ア) 除草・散水

除草・散水については、予定回数にこだわらず適宜実施。特に夏季については、ほぼ毎日実施します。

(イ) 落ち葉等処理

落ち葉処理と野外生活者等による糞尿等を含むゴミ清掃は毎日行います。館外清掃作業と中低木や花壇の管理作業は、スタッフと総合管理委託業者が協力して効率的に実施します。外周の落ち葉清掃も時期によって強化をするとともに、道路排水溝の機能維持のため必要に応じて実施します。

(ウ) 高木剪定

高木剪定については、安全面に配慮し、必要な時期に専門業者に委託します。

植栽業務予定表

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
人力除草												
中低木剪定 / 苗込												
薬剤散布												
施肥												
落ち葉処理												
高木剪定 / 苗込												
薬剤散布												
施肥												

5 施設管理について

(4) 植栽計画

具体的取組内容

施設外観は、「施設の良い印象を持ってもらう」大切な要素であるため、正面入り口付近、レストハウス入口付近、南駐車場側の植栽管理を計画的・効率的に行いました。

(ア) 除草・散水

暖かくなると雑草が生えてくるので、5月末から除草作業を適宜行いました。また、植物を枯らさないために、日常の清掃や巡回などから状況を確認し、適宜散水を行いました。

(イ) 落ち葉等処理

落ち葉処理や野外生活者等による糞尿などのゴミ清掃などは毎日実施しました。館外清掃とともに中低木と花壇の管理作業は、適宜、総合管理委託業者と協力して実施しました。

(ウ) 高木剪定

高木の枝切りを総合委託業者と協力して適宜実施しました。

6 安全管理について

横浜文化体育館は、大規模スポーツイベントやコンサートなど最大 5,000 人規模のイベントが開催される集客施設であるため、利用者・観戦者の安全確保を基本とした安全管理体制の確立は管理運営上の課題です。

「危機管理基本マニュアル」に基づき、危機管理体制を確立していきます。

緊急時や不測の事態に対する組織体制は、横浜文化体育館内部体制を整備し、職員や委託業者に周知するとともに、伊勢佐木警察署や中消防署と緊密に連携した体制を確立し、必要に応じて事前に相談するなどの外部との関係を強化した対応を行います。

セキュリティシステムの活用や消防設備面においては、専門業者に点検を依頼するなど安全確保に努めます。

お客様の安全確保を最優先に、日常的な不審者や不審物などに対し、職員や委託業者などによって定期巡回など適宜行い、施設内・外の安全確認を行い、施設の利用時においては警備員を配置するなど安全性を高める対応を行います。

スポーツ大会やイベントでは、主催者との打ち合わせ段階で避難誘導や警備配置など観戦者や参加者の安全確保に対する協力を依頼していきます。

緊急時および救急時の対応について、当協会職員は応急手当普及員等の有資格者を配置し、他の職員及び委託業者に対して、研修及び訓練を実施することで、危機管理体制の確認や危機管理意識の高揚とその対応力を強化します。

また、事件・事故などによる補償について、保険に加入するなど必要な対策を講じてきます。

横浜文化体育館における危機管理体制だけではなく、横浜市体育協会本部に危機管理体制を整備して、体育協会全体で事件・事故などの回避策も併せて取り組んでいます。危機発生時には、横浜文化体育館はその指揮のもとで行動するなどの対応をしていきます。

6 安全管理について

取組内容

(1) 大会運営における安全管理

大規模大会・イベント実施時は、中消防署、伊勢佐木警察署などと連携・調整を図り、主催者による安全確保の体制や消防及び警察からの意向などの確に伝えることで大会運営を安全に進行できるようにすすめました。

(2) 日常の安全管理

日常における施設内・外の巡回や警備員の配置など安全管理に努めました。

(3) 施設・設備の安全管理

セキュリティシステムや消防設備など専門の業者に委託し、点検等行い、安全性の確保に努めました。施設・設備の老朽化対策として、適宜修繕、横浜市への報告・調整など安全性の向上を図りました。

(4) 研修及び訓練

応急手当普及員有資格者を配置し、他の職員及び委託業者などに研修を実施し、応急手当やAEDの取り扱いを行い、意識の高揚、危機管理体制の確認をしました。

施設内防災訓練を実施し、緊急時対応について確認をしました。

(5) 保険加入

事件事故等による補償に備え、施設賠償保険やスポーツ・レクリエーション保険に加入了しました。

(6) その他

横浜市体育協会全体で危機管理体制を整備しており、今年度の防災訓練では、携帯電話やパソコンを使用した情報の伝達(災害用ブロードバンド伝言板)訓練も行いました。

6 安全管理について

(1) 警備体制

ア 趣旨

利用者の安全確保を基本とした「危機管理基本マニュアル」に基づき、伊勢佐木警察署や中消防署と緊密に連携した危機管理体制を確立します。

また、定期的に職員及び委託業者に対して、研修及び訓練を実施することで、危機管理意識の高揚とその対応力を強化します。

イ 具体的取組内容（実施事項）

(ア) 保安警備の実施体制

a 警備員配置

日常的に施設設備の異常や不審者などに備えるため正面ロビーに制服着用の警備員を配置します。

b 日常巡回点検の実施

トランシーバーを携帯したスタッフが、随時巡回。毎日、チェックシートにより館内 27 箇所にわたるポイントを巡回点検し、施設・設備の状況を確認します。（不審物の有無なども確認）

c 定期点検の実施

毎年建物・設備の性能評価をするために、法定点検及び自主的点検を信頼ある専門業者へ業務委託します。

(イ) 法定点検

消防設備などの法定点検は、法令等を遵守した業務仕様書に基づいて点検を実施、不具合箇所は早急に修繕を実施します。

(ウ) 自主的点検

ニュースなどで報道されたスポーツ事故など類似事故の発生防止のための自主的点検を実施します。

(エ) 催事対応

催事の主催者には事前打合せ等を通じて説明を行い、避難誘導員の配置など協力を要請します。

(オ) 館内監視

通常の催事では、各出入口に主催者側の要員の配置を要請します。要員が確保できない小規模な催事では、正面ロビー及び通用口の主要出入口の監視カメラとインターフォン、オートロックを利用して、来館者を全て事務室で確認します。

(カ) 閉館後及び休館日の対応

a 閉館後及び休館日の警備は、有料駐車場を含めて、専門性と効率化の観点から専門の業者へ委託します。

b 機械警備時に火災報知機等により発報があった場合には、警備員が直ちに緊急出動し、発報の停止、原因の確認及び除去などの一次対応をとるとともに、速やかに職員及び消防署等の関係機関へ連絡します。

c 連絡を受けた職員は、館長に連絡とともに現場に急行し、原状回復などの対応を実施します。

6 安全管理について

(1) 警備体制

具体的取組内容

伊勢佐木警察署、中消防署と連携を取り、施設利用者の安全を確保すると同時に、施設職員および委託業者とも連携を取り、施設内・外の日常的な安全確保を心掛け、管理運営を行いました。

特に、地震に関して対応フローを作成し、教室指導者や大会時の打ち合わせで対応確認するなど行いました。災害等の対応を必要とする事例はありませんでした。

(ア) 保安警備体制

a 警備員を配置

日常的に施設・設備の異常や不審者への対応に備えるため、正面ロビーに制服を着用した警備員を配置しました。

b 日常点検の実施

施設・設備の巡回点検を毎日行い、不審物や不審者のチェックを行いました。

c 定期点検の実施

施設を管理する上で必要な法定点検及び施設・設備の維持保全のために定期点検を実施しました。

(イ) 法定点検

施設管理に必要な法定点検を実施しました。

・消防設備 法に定められた点検内容を専門業者に委託し確実に実施しました。

・昇降機 車いす用の昇降機の点検を行いました

(ウ) 自主点検

文書において過去に起きた事故・事件や他施設での事件事故に関する情報共有をもとに、対応策の検討とシミュレーションを職員ミーティング等で行い、対応などの自主点検を行いました。

(エ) 催事対応

各大会の事前打ち合わせにおいて、避難経路、避難誘導等の確認と人員配置の要請を行いました。特に、地震に対する対応方法を綿密に行いました。

(オ) 館内監視

正面ロビーは警備員を配置するとともに、非常口や主要出入口に監視カメラを配置し、不審者等の監視を行いました。職員通用口は、オートロックを利用し、インターフォンとカメラによる監視を行いました。

(カ) 閉館後及び休日対応

有料駐車場の対応と併せて警備会社と委託契約を結び、閉館後及び休日の定期巡回及び機械警備対応をしました。異常時には警備会社が緊急対応するとともに、必要な場合は職員及び関係機関へ連絡し、適切な対応を行いました。

6 安全管理について

(2) 緊急・救急体制

ア 趣旨

お客様の安全確保を最優先に「危機管理基本マニュアル」に基づき、危機管理体制を確立します。

イ 具体的取組内容（実施事項）

(ア) 事故発生時における対応

事故や急病人が発生した場合は「応急処置マニュアル」に沿って利用者の救助、保護を最優先とした応急活動を行います。

(イ) 急病人及び負傷者の対応

職員が即時に現場に急行し、確認の上、応急救護（RICE 処置、AED・CPR、心肺蘇生法）など応急救護を実施します。また、必要によって消防署（119 番）に連絡し、救急隊に引き継ぎます。

(ウ) 軽症者の対応

軽症者がいる場合は、事故現場近くの安全な場所又は体育館内の救護室内で応急処置を行った後、場合によっては近隣病院などを紹介します。

(エ) 災害発生時における体制と対応

台風や大規模地震等による自然災害、施設に重大な被害が生じた場合などは、「利用者の安全確保を第一」に行動し、「危機管理基本マニュアル」に基づき、横浜市体育協会本部に災害対策（警戒）本部を設け、情報を収集するとともに施設への災害応急対策の実施に対する支援などを行います。

(オ) 自衛消防隊組織

横浜文化体育館自衛消防隊組織を活用して、利用者の安全確保を第一に、避難誘導及び応急救護などの安全確保のための活動を迅速かつ的確に実施します。また、初期消火や立入り禁止措置などの対応により、二次被害を防止します。

(カ) 利用者への情報提供及び連絡

a 震度 3 以上の地震発生時（横浜市域）、気象情報（大雨・洪水警報・雷注意報）及び不審者の侵入など危険情報を認知したときは、非常放送設備により、情報及び注意事項を利用者に呼びかけ、被害を予防します。

b 被害状況や対応時系列については、横浜市へ迅速に報告します。

(キ) 大会・イベントおよび教室参加者への対応

大型台風などの接近が予想される場合、早急に大会・イベントの開催の可否を主催者と協議し、大会・イベントが中止の場合は、参加者への周知を依頼するとともに、教室などの開催の可否については横浜市へ報告します。大会や教室の開催が延期の場合は代替開催日を設けることを基本とします。施設予約上、設定できない場合は、利用料金を返還します。

(ク) 物資集配拠点及び帰宅困難者一時避難所としての機能

大地震災害や大規模火災などが発生した場合には、横浜市防災計画における物資集配拠点や帰宅困難者一時避難所としての機能が果たせるよう、日頃から館内の整理整頓、提供する機器・設備の準備など緊急時に対応できるように準備します。

6 安全管理について

(2) 緊急・救急体制

具体的取組内容

(ア) 事故発生時における対応

事故や急病人が発生した場合は、「危機管理基本マニュアル」や「応急処置マニュアル」に沿って利用者の救助・保護を最優先に応急活動を行いました。

(イ) 急病人及び負傷者対応

大会時において急病人が発生したとき、職員が現場に行き、状況確認及び応急対応等行いました。状況によって、救急車を呼んだ場合、職員が救急車を誘導するなどスムーズに処置ができるように対応しました。

(ウ) 軽症者対応

教室でけが等発生した場合、教室指導者から職員に連絡が入り、職員が現場に向かい状況を確認し、必要な処置・対応を行いました。

応急処置のため、病院へ必ず行くことをすすめると同時に、事故報告書を作成し、体育協会事務局へ報告しました。そして、教室参加者のために入る傷害保険取り扱い代理店へ連絡し、手続きをすすめました。

大会時の負傷者対応は原則主催者となりますが、連絡を密に、緊急対応が取れる体制を取り、必要な対応をしました。

(エ) 災害発生時における体制と対応

台風等の自然災害が発生した場合は、「危機管理基本マニュアル」に基づき、横浜市体育協会本部に災害（警戒）対策本部を設置し、対策本部とともに情報収集と防災対策及び災害応急対策を立案、実施しました。

(オ) 自衛消防隊組織

横浜文化体育館において自衛消防隊を組織し、防火活動と出火時の対応の確認を行いました。

(カ) 利用者への情報提供及び連絡

震度 3 以上の地震発生時や気象情報（警報・注意報）について、適宜利用者へ情報提供し、注意喚起を図りました。

(キ) 大会・イベントおよび教室参加者への対応

台風や豪雨などの自然災害が予想される場合は、主催者との協議を事前に行いました。

(ク) 物資集配拠点としての機能

災害発生時に横浜市防災計画における役割を果たせるように、館内の整理整頓を行いました。

6 安全管理について

(2) 緊急・救急体制

(ヶ) 一時避難場所としての機能

大地震災害等の大規模災害が発生した場合は、帰宅困難者を受け入れる一時避難場所として施設を提供します。イベント・大会等が開催されている場合は、イベント・大会主催者と協議し、参加者・観覧者を中心に一時避難場所として機能させます。

6 安全管理について

(2) 緊急・救急体制

(ヶ) 一時避難場所としての機能

大規模災害等発生時に横浜市防災計画における役割を果たせるように、館内の整理整頓を行いました。

6 安全管理について

(3) 危機管理組織体制（補償体制等）

ア 趣旨

横浜文化体育館における危機管理体制だけでは、事故・事件、地震や台風などによる災害の規模や内容によっては、十分機能しないケースが想定されます。そのため、横浜市体育協会本部に危機管理体制や補償体制を整備しています。その中で、有資格者の配置、事件・事故などの回避策も併せて取り組んでいます。危機発生時には、横浜文化体育館はその指揮のもとで行動します。

イ 具体的取組内容（実施事項）

(ア) 有資格者の配置

私たち体育協会は、事業所に勤務する職員全て、横浜市消防長認定の応急手当普及員の資格取得者又は救命講習会の受講修了者です。これに加え、AED操作を含む定期的な訓練を実施します。

(公財)横浜市体育協会

館 長	常勤	1名	指導員職:応急手当普及員 事務職等:上級救命講習受講
職員1	常勤	1名	
職員2	常勤	1名	
職員3	常勤	1名	
職員4	常勤	1名	
職員5	常勤	1名	
職員6	常勤	1名	
サポートスタッフ	交代勤務	10名～ 12名	普通救命講習

全員がAED操作・CPR(心肺蘇生法)を実施できる。

総合管理委託業務(委託会社)

主 任	常勤	1名	常駐・交替制
清 掃	常勤職員	1名	
〃 (館内・外回)	非常勤職員	9名	
警 備	常勤職員	3名	
設 備	常勤職員	4名	

年2回AED・CPRの職場内研修を義務づけ(応急手当指導員が実施)

舞台操作管理業務(委託会社)

舞台管理		1名	常駐・交替制
舞台操作		4名	

スポーツ＆カルチャー教室講師

57名 常勤・交替制

(イ) 教育体制の確立

職員研修計画を作成し、入社年次、職制、部門別などにより、研修体系を定め職員研修を実施します。なかでも、応急手当普及の資格取得又は救命講習会の受講は、施設を管理運営する上での必須事項であることから義務付けています。

6 安全管理について

(3) 危機管理組織体制（補償体制等）

具体的取組内容

(ア) 有資格者の配置

横浜市消防局が行う応急手当普及員を持つ指導員の配置、事務職においては普通救命講習や上級救命講習会を受講している職員を配置しました。また、配置した有資格者を中心としAEDの取扱いや応急対応のOJT等を職場内で適宜行い、当体育館に従事する職員、外部指導者等、職場内全体で危機管理の意識高揚を図りました。有資格者の配置に関しては、左記の表に準じて実施しました。

(イ) 教育体制の確立

AED講習会を応急手当普及員が中心となって、全職員（委託業者を含め従事する職員）を対象に実施しました。

(ウ) 事件・事故後の体制

事後においても迅速・的確な対応をします。事件・事故の態様によって、「危機発生報告書」「事故報告書」「設備事故・故障報告書」などを速やかに、体育協会本部に送付します。

案件ごとに体育協会本部及び保険会社と相談、及び顧問弁護士の見解を聴取した後に適切に対応。必ず、そのてん末を横浜市に報告します。

(エ) その他の事件・事故防止策

a 危機兆候の情報収集

危機の発生兆候に関する情報を早期に収集。事態の推移を見極めながら、情報の信頼性、予想される影響度などを考慮し緊急時の対応を準備します。他都市における事故も、私たちが管理している横浜文化体育館に置き換えて、その都度、類似設備などの一斉緊急点検を自主的に実施します。

b ハット・ヒヤリ報告運動

日常の業務において少しでも異状を感じた場合は、速やかに管理担当に報告する「ヒヤリ・ハット報告運動」を徹底します

(オ) 補償体制

a 保険の加入

公募要項に示された、施設賠償保険(指定管理者制度の特約付)に加入します。また、教室事業ではスポーツ・レクリエーション傷害保険に加入します。これにより、スポーツ教室中の事故や怪我はもちろんのこと、横浜文化体育館への途上から教室終了後の帰途までの事故や怪我を補償します。

b 施設賠償保険

建物や建築物などや設備構造上の欠陥あるいは管理上の不備などに起因して、利用者に身体的傷害や財物損壊を与えた場合に備え、次の賠償責任保険に加入します。補償内容は次の表のとおりです。

保険の種類	賠償上限額
身体障害賠償責任保険	1事故につき5億円
財物損壊賠償責任保険	1事故につき1億円

c スポーツ・レクリエーション傷害保険

スポーツ教室やイベントの際に、参加者並びに指導者の傷害事故等に対応するために、傷害保険に加入します。補償内容は次の表のとおりです。

	補償額
死亡・後遺症	350万円
入院日額	4,500円
通院日額	3,000円

(ウ) 事件・事故後の体制

事件事故後の対応は、再発防止の取組みを速やかに進めました。また適宜、横浜市体育協会本部へ報告しました。平成27年度は横浜市へ報告すべき重大な案件はありませんでした。

(エ) その他の事件・事故の防止策

a 事件事故に対する情報共有を管理職会議(月1回開催)の中で適宜行われ、その情報を職員にも共有を図りました

<事例1>防災・減災の取組みや対応について

<事例2>個人情報の保護について

<事例3>暴力団対策法の対応について

b ハット・ヒヤリ報告運動

各職員は、日常業務において、少しでも異常を感じた時は、管理担当に報告する取組みを行いました。管理担当は、情報を確認・集約した後、全職員が情報共有できるようにしました。

(オ) 補償体制

左記の事業計画通り、施設賠償保険とスポーツ・レクリエーション傷害保険に加入し、万が一の事故に備えました。

7 地域との協力について

(1) 趣旨

横浜文化体育館は、市民の身近な総合施設としての立地環境やニーズ等を踏まえつつ、スポーツ団体や市民団体との連携を強め、スポーツ振興に資する施設運営を求められています。大規模な大会や催事のみならず、関内地区の各種団体とも協力・連携を深め、地域貢献の取組みを積極的に進めています。

(2) 具体的取組内容（実施事項）

「みるスポーツ」、「するスポーツ」の機会を提供するだけでなく、私たちは地域のスポーツ指導者の養成に積極的に取り組むことで、生涯スポーツ振興のすそ野を拡大していきます。

(ア) 地域と連携した各種スポーツ大会の開催

- 市民向け大会やイベント
- 行政と連携したイベント

(イ) 護身・防犯の推進

安全・安心の地域づくりに寄与するため、防犯・護身術教室を開催します。

また、横浜文化体育館の関係諸団体と連携を図ることにより、地域における防犯教室や防犯キャンペーンの実施を支援します。

(ウ) 健康づくり支援プログラムの実施

中区と連携した地域健康づくり啓発事業や、横浜市スポーツ医科学センターのソフトを活用した事業を実施します。（体力測定・からだ塾）

(エ) 地域の雇用を促進

横浜文化体育館の運営をサポートするスタッフをはじめ、各種イベントや教室開催時に子育て中の参加者を支援するために開設する保育室の運営スタッフなどを積極的に地域から採用し、雇用の促進に貢献します。

(オ) 学校関係行事の開催支援

公の施設の使命として、学校関係の公式行事の会場として施設を提供します。

(カ) 応急手当習得プログラム

地域の皆様が、AED の使用方法や心肺蘇生法、応急手当の技術を習得できるよう支援していきます。

(キ) コンサートの開催

地元商店街が実施するコンサートの開催を支援し、地域の賑わいの創出と地域コミュニティの醸成に寄与します。

(ク) 障がい者の就労等を支援する場の創出

横浜文化体育館での各種催事や施設事業において、近隣の地域作業所や活動ホーム等と連携し、制作物の展示や販売ができるよう、関係団体や各種催事の主催者等と調整し、障がい者団体の活動を支援します。

7 地域との協力について

具体的取組内容

(ア) 地域と連携した各種スポーツ大会の開催

横浜市民大会の開催（ボクシング、空手）

横浜市教育委員会主催大会

（中学校総合体育大会、卓球大会、放課後施策事業 ドッジボール大会）

(イ) ラジオ体操指導者養成講習会の実施

関東ラジオ体操連盟と連携し「ラジオ体操指導者養成講習」を開催しました。

(ウ) 護身・防犯の推進

地域防犯への取組みの一つとして、神奈川県警察の協力を得て、護身術教室を 1 回あたり 3 日間、年 3 回開催しました。

(エ) 健康づくり支援プログラムの実施

地域健康づくり啓発事業として、中区役所主催で中区ウォーク＆健康フェスタを開催しました。中区内の各地域でのウォーキング事業と文化体育館を活用した市民参加型イベントですが、区のスポーツ推進委員、青少年指導員、体育協会、健康づくり推進員など地域各団体との協力によるイベント運営を行いました。

(オ) 地域の雇用を促進

横浜文化体育館の事業を進めるにあたり、各種教室事業については市内の関連団体と調整をしながら、地域指導者を活用して展開しました。

(カ) 学校関係行事の開催支援

横浜市教育委員会主催の学校行事（横浜市体育大会各種目競技）や学校運動会など行いました。

(キ) 応急手当の技術習得プログラム

当協会の各区連携担当者を中心に、地域でのスポーツ活動に参加する市民を対象に AED の使用方法や心肺蘇生法、応急手当の技術を習得できるような講習会を実施しました。

(ク) コンサートの開催

横浜市商店街総連合会主催のハートフルコンサートの開催を支援しました。

8 モニタリング計画について

(1) 趣旨

利用者支援、接客対応、事業の実施、設備管理など管理運営の全ての面において、PDCAサイクルを取り入れます。利用者アンケート、外部評価、自己評価などを踏まえ、利用者満足度の高い施設運営に繋げていきます。

(2) 具体的取組内容（実施事項）

ア 実施体制

各種モニタリングを実施し、その結果を踏まえ業務改善に反映させ、横浜文化体育館全体の業務水準の向上を図ります。

イ PDCAマネジメントサイクルの運用

四半期に一度、職員で事業の進捗状況をチェックし、必要に応じ改善します。



ウ 利用者の意見・要望の的確な把握

多様な方法で定期的かつ必要に応じ、利用者の意見を把握します。

エ 利用者モニタリング

(ア) 利用者アンケート（満足度評価）

団体利用報告時に利用者アンケートを実施します。

(イ) ご意見箱の設置（随時実施）

館内に「ご意見箱」を設置し、利用者（教室等）からの意見や要望を得られやすい環境を整備します。いただいたご意見・要望に対しては、館長が責任を持って回答します。

(ウ) ご意見ダイヤルへの対応（随時実施）

横浜市のコールセンターの一部として設置される「ご意見ダイヤル」を積極的にPRします。利用者等からの意見や要望があった場合は迅速に対応します。

(エ) ホームページによるご意見・お問い合わせの対応準備

施設ホームページに「お問い合わせ」フォームを設置し、利用者から意見や質問を受け付けやすい環境を整備します。

8 モニタリング計画について

具体的取組内容

催事利用では、主催者に利用終了後に利用人数の報告と併せてご意見をいただきました。また、設営時、催事使用時、撤収時などの主催者との懇談の中で、意見をもらえるように心がけ、実態に即した利用者ニーズの把握に取組みました。

ア 実施体制

下記エの項目のモニタリングを実施し、その結果についてミーティング等の機会を活用し、職員間での共有を図り、課題の分析と解決方策の検討・実施を行いました。

イ PDCAマネジメントサイクルの運用

四半期ごとに、横浜文化体育館の取組み実績を数値などの客観的な方法で分析し、自己評価や外部評価へつなげ、業務水準の向上に向けた取組みを行いましたが、不十分な部分も見受けられました。

引き続き、適切な人員配置や業務分担と効率的な業務執行ができる体制づくりに取り組みます。

ウ 利用者の意見・要望の的確な把握

下記エの項目を意見・要望を収集するために実施しました。

エ 利用者モニタリングの実施

・教室利用

定期教室はアンケート調査を実施、集計結果を職員に回観し、次期教室の参考とし、反映させました。

・大会利用

大会利用は、毎月利用人数集計時に、主催者のご意見等を記載してもらい、月ごとに意見等をまとめ回観しました。

また、いただいた意見や、利用における反省点や改善点を確認し打ち合わせ等に反映させました。

・御意見箱の設置

利用者からの意見・要望等はアンケートを含めて直接的かつきめ細やかに収集したため、ご意見箱は設置しませんでした。

・ご意見ダイヤルへの対応

ご意見ダイヤルを通じて頂いたご意見に対して迅速に対応できるようにしましたが、特段のお問い合わせはありませんでした。

・現在は、体育協会HPに問い合わせをすることを基本としていますが、他の方法を検討しています

オ セルフモニタリング**(ア) 施設職員のモニタリング**

体育協会独自のチェックシートにもとづく自己評価と利用者によるモニタリングを行います。その結果を踏まえ、施設職員と体育協会本部所管部署を交えてモニタリングを四半期に一度開催します。

評価結果をもとに次期事業目標を設定し水準を高めます。

また、利用者モニタリングの結果は、四半期毎の事業報告として横浜市に報告します。

(イ) 事業執行会議の開催

上記事業評価会の結果を踏まえ、体育協会本部役職員をメンバーとした「事業執行会議」を実施し、業務水準の維持向上及び改善を確実なものとします。

カ 横浜市によるモニタリング（適宜）

協定書及び事業報告書に基づく管理運営状況と日常の管理運営状況について所管局の市民局に報告し、指導・協力を受けながら業務改善を図ります。

キ 横浜市が実施する第三者評価

第三者評価委員会による評価に協力し、アドバイス・忠告などがあった場合は課題解決に向けた業務改善を図ります。

8 モニタリング計画について**オ セルフモニタリング****(ア) 施設職員のモニタリング**

体育協会独自のチェックシートにより自己評価と、アンケート等により利用者のモニタリングを実施しました。施設職員と体育協会本部所管部署とは、原則週1回程度の情報交換と毎月の執行状況について管理職会議の場で、利用者モニタリングの結果分析、改善策検討など施設内職員で実施しました。

利用者モニタリングの報告は、四半期ごとに掲示、HPへの掲載、横浜市への報告も実施しました。

(イ) 事業執行会議の開催

体育協会本部役職員をメンバーとした「経営執行会議」において、執行状況の結果評価と分析を行った上で、各施設での施設業務水準の維持向上や改善への取り組みを行いました。今後も引き続き、施設と体協本部との連携体制を強化します。

カ 横浜市によるモニタリング

協定書や事業報告書に基づく横浜市への報告は適宜行い、担当者間でのモニタリングを実施しました。

今後も、適切な業務執行と報告ができるように、積極的な横浜市との協力関係の強化と当施設職員の人材育成に取組みます。

9 管理運営経費について

(1) 趣旨

管理運営経費について、効率的・効果的・計画的に執行していきます

(2) 具体的取組内容（実施事項）

収支予算書

2 指定管理・収入の部 (平成27年度)

(1) 収入

		内 訳		合計金額 (千円、税込み)	
合計 (A)					128,599
① 利用料金収入					69,834
項目	内訳	内訳	内訳	内訳	内訳
練習	スポーツ利用98団体 文化利用18団体	貸切利用料 貸切利用料	440 0	付帯設備料 付帯設備料	221 0
大会	スポーツ利用324団体 文化利用2団体	貸切利用料 貸切利用料	6,710 0	付帯設備料 付帯設備料	3,927 0
各種集会等	スポーツ利用278団体 文化利用92団体	貸切利用料 貸切利用料	5,283 2,558	付帯設備料 付帯設備料	3,637 1,866
営業宣伝を目的とする行事等	スポーツ利用27団体 文化利用38団体	貸切利用料 貸切利用料	1,249 2,567	付帯設備料 付帯設備料	474 2,301
興行を目的としない行事等 (入場料徴収・有料非興業)	スポーツ利用99団体 文化利用7団体	貸切利用料 貸切利用料	6,044 1,308	付帯設備料 付帯設備料	3,225 847
興行を目的とする行事等 (入場料徴収)	スポーツ利用34団体 文化利用50団体	貸切利用料 貸切利用料	6,169 9,105	付帯設備料 付帯設備料	2,422 2,445
トーニングルーム	75団体	貸切利用料	210	付帯設備料	0
特別会議室	454団体	貸切利用料	794	付帯設備料	10
1号会議室	714団体	貸切利用料	987	付帯設備料	25
2号会議室	632団体	貸切利用料	946	付帯設備料	23
3号会議室	630団体	貸切利用料	951	付帯設備料	32
4号会議室	1,641団体	貸切利用料	2,470	付帯設備料	588
② 教室事業収入					3,058
③ 広告業務収入	企業広告収入				28,676
④ 駐車場事業収入	車(24時間×365日×27台)稼働率18%×@400円(1時間) バイク(24時間×365日×13台)稼働率5%×@100(1時間)		17,029 569		17,598
⑤ 自主事業還元収入	自主事業収入－自主事業支出				10,691

(2) 指定管理経費を含めた収入合計

		内 訳		合計金額 (千円、税込み)			
収入 (A)	① 利用料金収入 + ② 教室事業収入 + ③ 広告業務収入 + ④ 駐車場事業収入 + ⑤ 自主事業還元収入(自主事業収入－自主事業支出)			128,599			
指定管理経費 (B)	横浜市からの指定管理料			69,565			
収入合計 (A) + (B)				198,164			

9 管理運営経費について

(1) 具体的取組内容（実施事項）

① 収入について

アリーナ稼働率90%以上を維持し、興行や有料非興行といった大会やイベント、時間外利用等の自主事業を含めた総収入は約1億9千7百万円（税込）となり、予算を約3%下回りました。

主な収入項目を見ると、

興行開催による利用料金収入は、プロレスなど12の興行が行われ、予算達成率で約99%とすることができました。

教室事業収入は、子どもを対象とした事業が好調に推移していますが、予算を下回りました。

駐車場収入は、自主事業の駐車場収入を含めた合計では、予算に対して95.1%の達成率となりました。

9 管理運営経費について

収支予算書 3 指定管理・支出の部 (平成27年度)						
	積算内訳					合計金額 (千円、税込み)
①維持管理運営費用	管理	166,973	教室事業	28,080	駐車場事業	2,916
	人件費	給与	24,330		広告事業	195
		職員手当	16,000			198,164
		給付費	60			
		福利厚生費	7,000			
		退職金	4,555			
		賞金	11,000			
	修繕費	建築設備	5,400	駐車場設備	540	6,264
		体育機器・備品	324			
	設備管理費	舞台照明点検	734			34,568
		舞台吊物点検	708			
		舞台音響点検	867			
		総合管理業務	30,450			
		消防設備点検	432			
		自家用工作物点検	550			
		昇降機点検	126			
		自動扉点検	88			
		熱風炉測定	298			
		公共建築物点検	315			
	保安警備費	夜間警備	974			974
	備品購入費	体育用備品等	324			1,080
		運営用備品等	756			
	消耗品費	設備用消耗材	972	消耗品	369	3,260
		清掃・日用品	785			
		事務用品費	864			
		コピー代	270			
	外構・植栽管理費	高木剪定作業費	324			324
	廃棄物処理費	廃棄物処理	848			848
	広報費		広告掲載費	1,781		1,781
	印刷製本費		チラシ制作	22		22
	光熱水費	電気	15,143			21,791
		上下水道	5,136			
		ガス	1,512			
	燃料費	自家発用燃料	3			3
	保険料	施設賠償保険	460	傷害保険料	933	1,393
	使用料・賃借料	アリーナ空調	4,147	施設利用料	6,784	13,720
		ロビー空調	458	駐車場機器	252	
		PCリース料	350	バイク機器	804	
		ネットワーク・システム	473			
		音楽著作物	100			
		AED	127			
		NHK受信料	30			
	謝金		0	講師謝金	12,398	12,398
	委託料	舞台設備操作	12,208	教室運営委託	5,666	20,594
		集金業務	500	機械警備	1,320	
		システム保守	310			
		特別清掃・評価等	590			
	公租公課費	収入印紙代	71	収入印紙	2	8,004
		事業所税	2,000			
		消費税負担額	5,931			
	旅費交通費	旅費	54	旅費	3	57
	通信運搬費	電話代等	594	切手代等	22	616
	支払手数料	振込手数料等	279			279
	原材料費		教材	100		100
	会費及び負担金	会費及び負担金	87			87
	間接事務費	事務局分	7,056	事務局経費負担分		7,056

9 管理運営経費について

②支出について

指定管理の部分での支出は、約1億8千3百万円となり、予算に対して約92%の支出でした。

自主事業を含めた総支出は、約1億8千7百万円となり、予算の約92%の支出でした。

主な要因としては、電気使用量の削減や外構・植栽管理費や広報・印刷製本費、消耗品などの経費節減によるものです。

また、修繕費に関しては予算を上回る執行をしました。

今後は、施設・設備の老朽化に伴う改修・更新費用等の支出増加が予想できるとともに、一方で現状での高水準の稼働率のため、収入の頭打ちが予想されますが、より効率の良い事業執行体制の確立や事業の見直し、及び新規事業の検討を進めます。

平成27年度 利用状況表(コマ)

開所日数
350日間
平日 233日間
土 51日間
日・祝 66日間

平成27年4月1日～平成28年3月31日

項目		利用コマ数						減免状況 (コマ)
		コマ数			曜日別内訳			
	区分	利用可能 コマ数	不能コマ	総利用 コマ数	平日	土曜	日・祝	
アリーナ	早朝	154	212	150	68	33	49	29
	A	344	22	312	198	48	66	42
	B	344	22	326	209	51	66	2
	C	346	20	306	202	44	60	8
	深夜	18	348	14	4	5	5	0
	小計	1206	624	1108	681	181	246	81
	充足率	—	—	91.9%	89.3%	94.8%	97.6%	—
トレーニングルーム	早朝	29	337	25	12	7	6	0
	A	344	22	107	84	11	12	0
	B	344	22	108	85	11	12	0
	C	344	22	95	76	9	10	0
	深夜	9	357	5	1	1	3	0
	小計	1070	760	340	258	39	43	0
	充足率	—	—	31.8%	36.8%	24.2%	20.8%	—
特別会議室	早朝	20	346	20	9	5	6	0
	A	348	18	115	53	25	37	0
	B	348	18	194	120	31	43	0
	C	348	18	92	63	13	16	0
	深夜	0	366	0	0	0	0	0
	小計	1064	766	421	245	74	102	0
	充足率	—	—	39.6%	34.9%	46.8%	50.0%	—
1号会議室	早朝	22	344	22	9	5	8	0
	A	348	18	222	144	26	52	0
	B	348	18	282	175	48	59	0
	C	348	18	234	158	49	27	0
	深夜	0	366	0	0	0	0	0
	小計	1066	764	760	486	128	146	0
	充足率	—	—	71.3%	69.2%	81.0%	70.9%	—
2号会議室	早朝	24	342	24	10	5	9	0
	A	348	18	171	96	29	46	0
	B	348	18	273	170	48	55	0
	C	348	18	239	177	37	25	0
	深夜	1	365	0	0	0	0	0
	小計	1069	761	707	453	119	135	0
	充足率	—	—	66.1%	64.3%	75.3%	65.2%	—
3号会議室	早朝	21	345	21	9	5	7	0
	A	348	18	181	117	27	37	0
	B	348	18	253	157	46	50	0
	C	348	18	191	142	32	17	0
	深夜	2	364	0	0	0	0	0
	小計	1067	763	646	425	110	111	0
	充足率	—	—	60.5%	60.5%	69.6%	53.9%	—
4号会議室	早朝	19	347	19	7	4	8	0
	A	348	18	282	184	39	59	0
	B	348	18	316	217	49	50	0
	C	348	18	284	187	46	51	0
	D	348	18	192	106	39	47	0
	E	348	18	242	170	34	38	0
	F	348	18	265	196	33	36	0
	深夜	0	366	0	0	0	0	0
	小計	2107	821	1600	1067	244	289	0
	充足率	—	—	75.9%	76.6%	78.7%	71.5%	—

※1 時間区分

アリーナ・トレーニングルームおよびレストハウス特別会議室・1・2・3号会議室(4号室以外)の利用区分は、

A9:00～12:00／B12:00～17:00／C17:00～22:00

レストハウス4号会議室の利用区分は、

A9:00～12:00／B12:00～14:00／C14:00～16:00／D16:00～18:00／E18:00～20:00／F20:00～22:00

平成27年度 指定管理・利用状況月計表(入数・金額)

平成27年4月1日～平成28年3月31日

団体数 (コマ数)	アリーナ	入場者数(単位:人)				領収金額(単位:円 税込)									指定管理者 主催貸切	
		曜日				予定合計 領収金額	合計 領収金額(a+b)	貸切利用料(a)	付帯設備料(b)							
		平日	土曜	日・祝	合計				付帯設備	冷暖房	物品販売	駐車場	その他			
	スポーツ利用															
	練習	5	210	0	0	210	37,740	37,740	33,800	3,940	3,940	0	0	0	0	
	大会	342	41,488	14,404	24,163	80,055	10,439,148	10,041,098	6,540,900	3,500,198	2,597,198	656,000	184,000	63,000	0	2,710,480
	有料非興行	80	7,905	7,301	21,370	36,576	8,995,390	8,995,390	6,392,970	2,602,420	1,584,420	580,000	420,000	18,000	0	0
	興行	42	2,540	15,900	13,700	32,140	14,337,300	14,337,300	9,865,800	4,471,500	2,947,500	260,000	844,000	420,000	0	0
	各種集会	272	51,829	20,960	25,632	98,421	11,711,686	10,939,726	5,629,750	5,309,976	3,484,476	1,220,000	300,000	305,500	0	3,457,640
	営業宣伝	15	620	500	3,100	4,220	1,329,800	1,329,800	925,600	404,200	230,200	0	152,000	22,000	0	0
	文化利用															
	練習	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	大会	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	有料非興行	9	0	0	3,848	3,848	1,113,700	1,113,700	804,000	309,700	245,700	36,000	28,000	0	0	0
	興行	33	26,650	8,000	8,300	42,950	7,664,686	7,664,686	6,117,600	1,547,086	719,200	292,000	224,000	300,000	11,886	0
	各種集会	114	27,456	6,865	800	35,121	4,345,420	3,791,860	2,088,310	1,703,550	1,018,950	412,000	48,000	224,600	0	0
	営業宣伝	32	4,655	5,550	0	10,205	2,733,150	2,733,150	1,484,100	1,249,050	791,550	196,000	224,000	37,500	0	0
	小計	944	163,353	79,480	100,913	343,746	62,708,020	60,984,450	39,882,830	21,101,620	13,623,134	3,652,000	2,424,000	1,390,600	11,886	6,168,120
	トレーニングルーム	310	3,766	340	420	4,526	391,480	391,480	391,480	0	0	0	0	0	0	236,800
	本館 合計	1,254	167,119	79,820	101,333	348,272	63,099,500	61,375,930	40,274,310	21,101,620	13,623,134	3,652,000	2,424,000	1,390,600	11,886	6,404,920
	特別会議室	401	2,270	559	922	3,751	940,700	940,700	930,200	10,500	10,500	0	0	0	0	0
	1号会議室	738	5,553	1,981	2,160	9,694	1,342,500	1,342,500	1,309,000	33,500	33,500	0	0	0	0	115,000
	2号会議室	683	10,508	2,159	3,261	15,928	1,377,500	1,377,500	1,344,500	33,000	33,000	0	0	0	0	1,500
	3号会議室	625	7,139	2,576	2,471	12,186	1,242,500	1,242,500	1,214,000	28,500	28,500	0	0	0	0	289,100
	4号会議室	1,561	7,659	1,874	2,610	12,143	2,900,900	2,900,900	2,530,900	370,000	370,000	0	0	0	0	670,000
	平沼記念レストハウス 合計	4,028	33,129	9,149	11,424	53,702	7,804,100	7,804,100	7,328,600	475,500	475,500	0	0	0	0	1,075,600
	総合計	5,282	200,248	88,969	112,757	401,974	70,903,600	69,180,030	47,602,910	21,577,120	14,098,634	3,652,000	2,424,000	1,390,600	11,886	7,480,520

平成27年度 利用者団体数

平成27年4月1日～平成28年3月31日

施設名	スポーツ利用												文化利用												利用合計	団体予約数				
	平日			土曜日			日曜・祝日			利用小計	平日			土曜日			日曜・祝日			利用小計	利用合計									
	一般		減免	一般		減免	一般		減免		一般		減免	一般		減免	一般		減免											
	団体予約数	利用合計	団体予約数	利用合計	団体予約数	利用合計	団体予約数	利用合計	団体予約数		団体予約数	利用合計	団体予約数	利用合計	団体予約数	利用合計	団体予約数	利用合計	団体予約数	利用合計										
アリーナ	早朝	38	38	17	17	29	29	2	2	39	39	8	8	133	12	12	1	1	1	1	2	2	0	0	17	150	150			
	A	133	133	21	21	38	38	3	3	52	52	8	8	255	37	37	7	7	4	4	3	3	6	6	0	0	57	312	312	
	B	156	156	0	0	44	44	0	0	60	60	0	0	260	51	51	2	2	7	7	0	0	6	6	0	0	66	326	326	
	C	149	149	0	0	37	37	0	0	55	55	0	0	241	47	47	6	6	5	5	2	2	5	5	0	0	65	306	306	
	深夜	2	2	0	0	4	4	0	0	5	5	0	0	11	2	2	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	3	14	14	
	小計	478	478	38	38	152	152	5	5	211	211	16	16	900	149	149	16	16	18	18	6	6	19	19	0	0	208	#####	#####	
トレーニングルーム	早朝	10	10	0	0	7	7	0	0	6	6	0	0	23	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	25	25	
	A	80	80	0	0	11	11	0	0	9	9	0	0	100	4	4	0	0	0	0	0	0	3	3	0	0	7	107	107	
	B	81	81	0	0	11	11	0	0	9	9	0	0	101	4	4	0	0	0	0	0	0	3	3	0	0	7	108	108	
	C	72	72	0	0	9	9	0	0	9	9	0	0	90	4	4	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	5	95	95	
	深夜	1	1	0	0	1	1	0	0	3	3	0	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	5		
	小計	244	244	0	0	39	39	0	0	36	36	0	0	319	14	14	0	0	0	0	0	0	7	7	0	0	21	340	340	
本館合計		722	722	38	38	191	191	5	5	247	247	16	16	#####	163	163	16	16	18	18	6	6	26	26	0	0	229	#####	#####	
特別会議室	早朝	7	7	0	0	4	4	0	0	6	6	0	0	17	2	2	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	3	20	20	
	A	9	9	0	0	5	5	0	0	12	12	0	0	26	44	44	0	0	20	20	0	0	25	25	0	0	89	115	115	
	B	9	9	0	0	7	7	0	0	12	12	0	0	28	111	111	0	0	24	24	0	0	31	31	0	0	166	194	194	
	C	9	9	0	0	4	4	0	0	10	10	0	0	23	54	54	0	0	9	9	0	0	6	6	0	0	69	92	92	
	深夜	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
	小計	34	34	0	0	20	20	0	0	40	40	0	0	94	211	211	0	0	54	54	0	0	62	62	0	0	327	421	421	
1号会議室	早朝	7	7	0	0	4	4	0	0	8	8	0	0	19	2	2	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	3	22	22	
	A	15	15	0	0	9	9	0	0	14	14	0	0	38	129	129	0	0	17	17	0	0	38	38	0	0	184	222	222	
	B	13	13	0	0	8	8	0	0	14	14	0	0	35	162	162	0	0	40	40	0	0	45	45	0	0	247	282	282	
	C	30	30	0	0	19	19	0	0	11	11	0	0	60	128	128	0	0	30	30	0	0	16	16	0	0	174	234	234	
	深夜	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
	小計	65	65	0	0	40	40	0	0	47	47	0	0	152	421	421	0	0	88	88	0	0	99	99	0	0	608	760	760	
2号会議室	早朝	8	8	0	0	4	4	0	0	9	9	0	0	21	2	2	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	3	24	24	
	A	13	13	0	0	6	6	0	0	17	17	0	0	36	83	83	0	0	23	23	0	0	29	29	0	0	135	171	171	
	B	27	27	0	0	8	8	0	0	18	18	0	0	53	143	143	0	0	40	40	0	0	37	37	0	0	220	273	273	
	C	14	14	0	0	14	14	0	0	15	15	0	0	43	163	163	0	0	23	23	0	0	10	10	0	0	196	239	239	
	深夜	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
	小計	62	62	0	0	32	32	0	0	59	59	0	0	153	391	391	0	0	87	87	0	0	76	76	0	0	554	707	707	
3号会議室	早朝	7	7	0	0	4	4	0	0	7	7	0	0	18	2	2	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	3	21	21	
	A	58	58	0	0	7	7	0	0	19	19	0	0	84	59	59	0	0	20	20	0	0	18	18	0	0	97	181	181	
	B	56	56	0	0	8	8	0	0	13	13	0	0	77	101	101	0	0	38	38	0	0	37	37	0	0	176	253	253	
	C	80	80	0	0	7	7	0	0	10	10	0	0	97	62	62	0	0	25	25	0	0	7	7	0	0	94	191	191	
	深夜	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
	小計	201	201	0	0	26	26	0	0	49	49	0	0	276	224	224	0	0	84	84	0	0	62	62	0	0	370	646	646	
4号会議室	早朝	6	6	0	0	3	3	0	0	7	7	0	0	16	1	1	0	0	1	1	0	0	1	1	0	0	3	19	19	
	A	183	183	0	0	38	38	0	0	58	58	0	0	279	1	1	0	0	1	1	0	0	1	1	0	0	3	282	282	
	B	216	216	0	0	48	48	0	0	49	49	0	0	313	1	1	0	0	1	1	0	0	1	1	0	0	3	316	316	
	C	185	185	0	0	45	45	0	0	50	50	0	0	280	2	2	0	0	1	1	0	0	1	1	0	0	4	284	284	
	D	105	105	0	0	39	39	0	0	46	46	0	0	190	1	1	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	2	192	192
	E	169	169	0	0	34	34	0	0	37	37	0	0	240	1	1	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	2	242	242
	F	196	196	0	0	33	33	0	0	35	35	0	0	264	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	1	265	265
	深夜	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	小計	#####	#####	0	0	240	240	0	0	282	282	0	0	#####	7	7	0	0	4	4	0	0	7	7	0	0	18	#####	#####	
レストハウス合計	#####	#####	0	0	358	358	0	0	477	477	0	0	#####	#####	#####	0	0	317	317	0	0	306	306	0	0	#####	#####	#####		
合計	#####	#####	38	38	549	549	5	5	724	724	16	16	#####	16	16	335</														

平成 27 年度収支決算書

1 総括表

(1) 収入

(税込み)

項目	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	合計 (C)	予算 (D)	予算達成率 (%) (=C/D)	備考
①利用料金収入	36,697,694	15,756,422	8,542,074	8,183,840	69,180,030	70,044,000	98.8%	
②駐車場事業収入	4,223,100	4,771,100	4,039,200	3,899,400	16,932,800	17,598,000	96.2%	
③教室事業収入	15,990,630	2,830,520	5,401,110	2,879,560	27,101,820	28,676,000	94.5%	
④広告業務収入	1,800,000	0	0	0	1,800,000	1,800,000	100.0%	
⑤指定管理経費	25,432,000	13,860,000	20,823,000	9,240,000	69,355,000	69,355,000	100.0%	
(⑥自主事業還元収入)	0	0	0	9,432,414	9,432,414	0	#DIV/0!	自主事業収入一 自主事業支出
小計(①+②+③+④+⑤+⑥) (A)	84,143,424	37,218,042	38,805,384	33,635,214	193,802,064	187,473,000	103.4%	
⑦自主事業による収入	3,613,942	6,039,239	1,335,164	2,558,186	13,546,531	16,561,000	81.8%	
項目	教室事業	0	2,509,800	-30,000	41,000	2,520,800	2,192,000	115.0%
飲食事業		0	0	0	0	0	0	#DIV/0!
物販事業		1,735,666	2,234,236	874,605	1,551,869	6,396,376	6,812,000	93.9%
駐車場事業		149,700	193,700	181,900	157,100	682,400	920,000	74.2%
その他(基本時間外利用料等)		1,728,576	1,101,503	308,659	808,217	3,946,955	6,637,000	59.5%
合計(①+②+③+④+⑤+⑦)	87,757,366	43,257,281	40,140,548	26,760,986	197,916,181	204,034,000	97.0%	

(2) 支出

(税込み)

項目	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	合計 (C)	予算 (D)	予算達成率 (%) (=C/D)	備考	
⑧維持管理運営費用 (B)	52,428,217	39,113,237	43,544,456	53,916,287	189,002,197	198,164,000	95.4%		
項目	人件費	17,780,248	11,696,215	16,547,701	13,795,030	59,819,194	62,945,000	95.0%	
修繕費		4,285,558	1,841,268	2,731,536	441,180	9,299,542	6,264,000	148.5%	
設備管理費・保安警備費		9,451,157	10,573,396	6,765,154	11,511,488	38,301,195	40,168,000	95.4%	
備品購入費・消耗品費		600,923	732,508	723,316	706,487	2,763,234	4,340,000	63.7%	
外構・植栽管理費・廃棄物処理費		44,424	195,430	65,478	57,645	362,977	1,172,000	31.0%	
広報費・印刷製本費		545,400	10,800	566,834	487,309	1,610,343	1,803,000	89.3%	
目	光熱水費・燃料費		4,068,977	6,840,094	4,152,960	5,684,081	20,746,112	21,794,000	95.2%
保険料		705,433	80,301	199,987	223,208	1,208,929	1,393,000	86.8%	
使用料・賃借料		3,227,662	1,285,351	2,439,891	2,635,136	9,588,040	9,115,000	105.2%	
委託料・謝金		9,184,899	3,936,647	7,377,245	8,073,666	28,572,457	32,992,000	86.6%	
公租公課		1,794	0	20	7,596,729	7,598,543	7,983,000	95.2%	
その他(間接事務費等)		2,531,742	1,921,227	1,974,334	2,704,328	9,131,631	8,195,000	111.4%	
⑨自主事業による経費		924,428	2,075,593	230,832	10,315,678	13,546,531	5,870,000	230.8%	
項目	教室事業	65,737	1,856,925	7,380	39,003	1,969,045	2,067,000	95.3%	
飲食事業		0	0	0	0	0	0	#DIV/0!	
物販事業		780,900	144,300	125,600	159,561	1,210,361	1,282,000	94.4%	
駐車場事業		0	0	0	0	0	0	#DIV/0!	
その他(時間外管理費・賃金等)		77,791	74,368	97,852	684,700	934,711	2,521,000	37.1%	
⑩(自主事業還元支出)		0	0	0	9,432,414	9,432,414	0	#DIV/0!	
合計(⑧+⑨)-⑩)		53,352,645	41,188,830	43,775,288	54,799,551	193,116,314	204,034,000	94.6%	

(3) 収支差額

(税込み)

項目	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	合計	備考
収支差額=収入(A)-支出(B)	31,715,207	-1,895,195	-4,739,072	-20,281,073	4,799,867	

様式27

施設名 横浜文化体育館

平成27年度 年間収支決算書

2 指定管理・収入の部

(1)収入

	内 訳	合計金額 (税込み)
合計		193,802,064
① 利用料金収入		69,180,030
② 駐車場事業収入	コインパーキング	16,932,800
③ 教室事業収入	スポーツ・文化教室事業	27,101,820
④ 広告業務収入	看板広告	1,800,000
⑤ 指定管理経費		69,355,000
(⑥ 自主事業還元収入)	自主事業収入一自主事業支出	9,432,414

平成27年度 年間収支決算書

3 指定管理・支出の部

		積 算 内 訳	合計金額 (税込み)
① 維持管理運営費用(数字は全て税抜き)			189,002,197
項目	目		
	人件費	職員人件費	59,819,194
	修繕費		9,299,542
	設備管理費	車椅子昇降機保守等	37,326,403
	保安警備費	機械警備(駐車場合む)等	974,792
	備品購入費		0
	消耗品費	各種消耗品購入費	2,763,234
	外構・植栽管理費	清掃・剪定等	0
	廃棄物処理費	廃棄物処理費	362,977
	広報費	タウンニュース掲載等	1,610,343
	印刷製本費		0
	光熱水費	電気代、水道代、ガス代	20,742,458
	燃料費		3,654
	保険料	施設賠償・教室用保険	1,208,929
	使用料・賃借料	空調機、駐車場機器等リース料	9,588,040
	公租公課費	収入印紙、事業所税等	7,598,543
	謝金	教室講師謝金	11,597,639
	委託料	総合管理・舞台設備運営・教室事務等	16,974,818
	その他	通信運搬費・旅費等	1,325,631
		間接事務費	7,056,000
		施設運営費支出(雑支出 H26未収金)	750,000

※1 次の例を参考に記載してください。□ 人件費…報酬、賃金、手当、社会保険料、福利厚生費など

施設名 横浜文化体育館

平成27年度 年間収支決算書

4 自主事業・収入の部

		内 訳	合計金額 (税込み)
⑤ 自主事業による収入			13,546,531
項 目	教室事業	サマー・キャンプin赤城・ウォーキング事業	2,520,800
	興行事業		0
	飲食事業	なし	
	物販事業	自動販売機収入	6,244,026
		物品販売収入	152,350
	駐車場事業		682,400
	その他	基本時間外利用料収入	3,132,254
		レンタル事業収入	58,650
		利用者支援等	756,051

施設名 横浜文化体育館

平成27年度 年間収支決算書

5 自主事業・支出の部

		内 訳	合計金額 (税込み)
② 自主事業による経費			13,546,531
項目	教室事業	サマーキャンプin赤城・ウォーキング事業	1,969,045
	興行事業	なし	
	飲食事業	なし	
	物販事業	販売用物品仕入れ・棚卸等	143,561
		自動販売機	1,066,800
	駐車場事業	なし	
	その他	時間外管理費・賃金等	340,711
		レンタル事業	0
		利用者支援等	594,000
	(自主事業還元収入)	自主事業収入一自主事業支出	9,432,414

No.	教 室 名	種別※1	対象	曜日	区分※2	会場	回数	参加料	定員	延べ参加	収支状況		
											収入額	支出額	収支差額
	スポーツ系												
1	気功太極拳(月)	定期	18歳以上男女	月	A	ロビー	8	510	49	828	506,940	0	506,940
2	フラダンス(月)	定期	18歳以上女	月	B	レスト4号室	8	1,230	20	225	343,170	0	343,170
3	らくらくフィットネス	定期	18歳以上男女	月	A	トレーニング室	8	1,020	20	331	388,620	0	388,620
4	シニアバレエ	定期	50歳以上男女	月	B	レスト4号室	8	1,020	10	406	523,260	0	523,260
5	ちびっこバレエ(3歳児)	定期	3歳児	月	B	トレーニング室	8	820	25	103	125,460	0	125,460
6	ちびっこバレエ(4~6歳児)	定期	4~6歳	月	B	トレーニング室	8	1,020	25	449	553,820	0	553,820
7	キンダーバレエ	定期	小学生	月	C	トレーニング室	8	1,230	10	469	644,520	0	644,520
8	ジュニアHIP-HOP	定期	小学生	月	D	レスト4号室	8	610	20	33	21,960	0	21,960
9	ダブルダッチ	定期	小学生	月	E	レスト4号室	8	610	20	312	203,740	0	203,740
10	ピラティス(リメディ)	定期	18歳以上男女	月	B	レスト3号室	8	2,050	15	11	20,500	0	20,500
11	ダブルダッチ上級	定期	小学生以上	月	C	レスト3号室	8	1,020	10	190	208,080	0	208,080
12	フラメンコ	定期	18歳以上男女	月	E	レスト4号室	8	2,050	15	173	496,100	0	496,100
13	護身術教室	特別	18歳以上男女	月	C	ロビー	3	510	15	72	41,580	0	41,580
14	気功太極拳(火)	定期	18歳以上男女	火	A	ロビー	9	510	49	657	558,960	0	558,960
15	すつきりシェイプアップ	定期	18歳以上男女	火	A	トレーニング室	9	1,020	20	667	828,240	0	828,240
16	マナーニャフラメンコ	定期	18歳以上男女	火	A	レスト4号室	9	1,540	15	113	187,880	0	187,880
17	社交ダンス	定期	18歳以上男女	火	C	レスト4号室	9	1,020	49	201	250,920	0	250,920
18	初めてのヨーガ	定期	18歳以上男女	火	A	レスト3号室	9	1,020	20	243	277,440	0	277,440
19	やさしいヨーガ	定期	18歳以上男女	火	C	トレーニング室	9	1,230	15	166	230,010	0	230,010
20	フラダンス(火)	定期	18歳以上男女	火	E	レスト4号室	9	1,230	20	241	373,920	0	373,920
21	にこにこヘルスアップ体操	定期	18歳以上男女	火	B	トレーニング室	9	820	15	126	121,360	0	121,360
22	マーメイズチアダンス(幼児)	定期	4~6歳児	火	B	トレーニング室	9	920	15	292	308,200	0	308,200
23	マーメイズチアダンス(ジュニアA)	定期	小学生(1~3年生)	火	C	トレーニング室	9	1,020	15	299	316,200	0	316,200
24	マーメイズチアダンス(ジュニアB)	定期	小学生(4~6年生)	火	C	トレーニング室	9	1,020	20	0	0	0	0
25	チアダンス(Tシャツ・ボンボン)									20	131,000	0	131,000
26	一時託児	定期	0~2歳児	火	A	本館5号室		510	15	131	80,580	299,921	-219,341
27	ベビー体操	定期	0~1歳児	月	B	トレーニング室	6	820	20	146	106,600	0	106,600
28	大人のためのバレエ	定期	16歳以上	月	A	レスト4号室	8	1,020	20	285	381,480	0	381,480
										0	0	0	0
										0	0	0	0
										0	0	0	0
	文体友の会									0	0	0	0
29	親子体操教室(コアラ)	定期	~1歳半と保護者	火	A	レスト4号室	9	820	20	497	310,780		310,780
30	親子体操教室(ハンド)	定期	1歳半~と保護者	火	A	アリーナ	9	820	25	1,005	638,780	0	638,780
31	親子体操教室(ウサギ)	定期	2歳~と保護者	火	A	アリーナ	9	820	25	1,373	798,680	0	798,680
32	モーニングフィットネス	定期	18歳以上男女	火	A	アリーナ	9	510	110	1,674	1,080,690	0	1,080,690
33	卓球	定期	18歳以上男女	火	A	アリーナ	9	510	120	2,808	1,653,410	0	1,653,410
34	バドミントン	定期	18歳以上男女	火	A	アリーナ	9	710	30	429	379,830	0	379,830
35	シニアフィットネス	定期	60歳以上男女	火	B	アリーナ	9	410	180	1,871	1,101,670	0	1,101,670
36	いきいきフィットネス	定期	18歳以上男女	火	B	アリーナ	9	510	100	1,636	946,560	0	946,560
37	幼児スポーツ教室	定期	3~6歳	火	B	アリーナ	9	820	80	2,303	2,069,410	0	2,069,410
38	ジュニアスポーツ教室	定期	小学生	火	B	アリーナ	9	820	100	2,040	1,817,800	0	1,817,800
39	体力測定・カンフアレンス	特別	18歳以上男女	火	B	トレーニング室	0	1,500	10	0	953,700	0	953,700
40	マリノスふれあいサッカー(小学1~3年生)	特別	小学生(1~3年生)	火	B	アリーナ	4	1,200	20	181	220,800	0	220,800
41	マリノスふれあいサッカー(小学4~6年生)	特別	小学生(4~6年生)	火	C	アリーナ	5	1,200	20	242	290,400	0	290,400
42	マリノスふれあいサッカー(18歳以上)	特別	社会人男・女	火	C	アリーナ	4	1,200	20	159	189,600	0	189,600
43	バスケットボール(小学生)	特別	小学生	火	C	アリーナ	8	610	50	839	513,620	0	513,620
44	バスケットボール(中学生以上)	特別	中学生以上	火	C	アリーナ	8	820	30	406	333,740	0	333,740
	カルチャー系(共通支出)									0	0	0	0
45	初心者のための油絵教室	定期	18歳以上男女	月	B	レスト1号室	5	2,050	10	102	239,850		239,850
46	基本を学ぶ書道教室	特別	18歳以上男女	月	A	レスト1号室	5	2,050	10	79	155,800		155,800
47	初心者のための絵手紙教室	特別	18歳以上男女	火	A	レスト1号室	3	2,050	10	20	41,000	0	41,000
48	初めてのアーリカンフアーラー教室	特別	18歳以上男女	火	C	レスト1号室	3	3,590	10	9	43,080	0	43,080
49	楽しく編む籠	特別	18歳以上男女	火	B	レスト1号室	3	3,590	10	22	78,980	0	78,980
50	季節を楽しむ教室	特別	小学生から	不定		レスト他				135	112,000	0	112,000
	教室事業共通支出(文化)									0	0	612,785	-612,785
	ヨコハマ卓球練習の日									0	0	0	0
51	ヨコハマ卓球練習の日(大人)	特別	18歳以上男女	月	ABC	アリーナ	9	600	200	6,297	3,590,800	0	3,590,800
52	ヨコハマ卓球練習の日(高校生)	特別	小・中・高校生	月	ABC	アリーナ	9	300	50	2,082	614,700	0	614,700
53	卓球マシン使用料	特別	小学生~大人	月	ABC	アリーナ	9	400	60	1,795	695,600	0	695,600
	教室事業共通支出(使用料)									300	60	0	7,370,020
	教室事業共通支出(交通費)											0	1,148
	教室事業共通支出(消耗品費)											0	421,507
	教室事業共通支出(備品費)											0	0
	教室事業共通支出(備品費)											0	746,041
	教室事業共通支出(広告費)											0	1,524,303
	教室事業共通支出(通信運搬費・雑費)											0	-1,800
	教室事業共通支出(謝金)											0	10,982,537
	教室事業共通支出(委託料)											0	5,964,678
合計										35,173	27,101,820	27,924,740	-822,920

※1 定期、特別、イベント

※2 ホールおよび平沼レストハウス(4号室以外)の利用区分は、A9:00～12:00、B12:00～17:00、C17:00～22:00

平沼レストハウス4号室の利用区分は、A9:00～12:00、B12:00～14:00、C14:00～16:00、D16:00～18:00、E18:00～20:00、F20:00～22:00。

平成27年度 自主事業・利用状況月計表(入数・金額)

平成27年4月1日～平成28年3月31日

		団体数 (コマ数)	入場者数(単位:人)				領収金額(単位:円 税込)									指定管理者 主催貸切 合計(内数)		
			曜日				予定合計 領収金額	合計 領収金額(a+b)	貸切利用料(a)	付帯設備料(b)								
			平日	土曜	日・祝	合計				付帯設備	冷暖房	物品販売	駐車場	その他				
朝	スポーツ利用		練習	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
			大会	67	1,180	465	780	2,425	443,300	405,900	405,900	0	0	0	0	0		
			有料非興行	16	250	150	430	830	378,724	378,724	378,724	0	0	0	0	0		
			興行	7	60	200	50	310	500,328	500,328	500,328	0	0	0	0	0		
			各種集会	40	620	400	630	1,650	339,022	293,662	293,662	0	0	0	0	0		
			営業宣伝	3	30	30	50	110	69,899	69,899	69,899	0	0	0	0	0		
	文化利用		練習	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
			大会	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
			有料非興行	1	0	0	50	50	23,666	23,666	23,666	0	0	0	0	0		
			興行	10	350	50	50	450	183,831	183,831	183,831	0	0	0	0	0		
			各種集会	4	130	50	0	180	26,298	19,418	19,418	0	0	0	0	0		
			営業宣伝	2	100	0	0	100	45,600	45,600	45,600	0	0	0	0	0		
アリーナ	スポーツ利用		練習	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
			大会	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
			有料非興行	4	50	60	50	160	181,750	181,750	181,750	0	0	0	0	0		
			興行	5	0	100	150	250	703,125	703,125	703,125	0	0	0	0	0		
			各種集会	2	30	0	50	80	27,500	27,500	27,500	0	0	0	0	0		
			営業宣伝	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	文化利用		練習	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
			大会	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
			有料非興行	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
			興行	1	50	0	0	50	156,250	156,250	156,250	0	0	0	0	0		
			各種集会	1	50	0	0	50	8,100	8,100	8,100	0	0	0	0	0		
			営業宣伝	1	0	50	0	50	41,666	41,666	41,666	0	0	0	0	0		
	小計		164	2,900	1,555	2,290	6,745	3,129,059	3,039,419	3,039,419	0	0	0	0	0	0		
トレーニングルーム	朝	スポーツ	23	160	90	80	330	9,657	9,657	9,657	0	0	0	0	0	0		
			文化	2	20	0	0	20	999	999	999	0	0	0	0	0		
	深夜	スポーツ	5	10	10	50	70	2,800	2,800	2,800	0	0	0	0	0	0		
			文化	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
本館 合計			194	3,090	1,655	2,420	7,165	3,142,515	3,052,875	3,052,875	0	0	0	0	0	0		
特別会議室	早朝	スポーツ	17	32	15	25	72	10,800	10,800	10,800	0	0	0	0	0	0		
			文化	3	2	0	0	2	1,800	1,800	1,800	0	0	0	0	0		
	深夜	スポーツ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
			文化	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
1号会議室	早朝	スポーツ	19	43	25	70	138	8,660	8,660	8,660	0	0	0	0	0	0		
			文化	3	12	0	0	12	1,299	1,299	1,299	0	0	0	0	0		
	深夜	スポーツ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
			文化	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
2号会議室	早朝	スポーツ	21	88	25	120	233	11,000	11,000	11,000	0	0	0	0	0	0		
			文化	3	13	0	0	13	1,500	1,500	1,500	0	0	0	0	0		
	深夜	スポーツ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
			文化	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
3号会議室	早朝	スポーツ	18	83	25	100	208	9,500	9,500	9,500	0	0	0	0	0	0		
			文化	3	13	0	0	13	1,500	1,500	1,500	0	0	0	0	0		
	深夜	スポーツ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
			文化	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
4号会議室	早朝	スポーツ	16	12	0	20	32	11,322	11,322	11,322	0	0	0	0	0	0		
			文化	3	10	0	10	20	1,998	1,998	1,998	0	0	0	0	0		
	深夜	スポーツ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
			文化	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
平沼記念レストハウス 合計			106	308	90	345	743	59,379	59,379	59,379	0	0	0	0	0	0		
総合計			300	3,398	1,745	2,765	7,908	3,201,894	3,112,254	3,112,254	0	0	0	0	0	0		

樣式33

施設名 横浜文化体育馆

自主事業・教室收支報告

平成 27 年度 年間

No.	開催日	興行、イベント名	対象	日数	利用区分 ^{※1}	主催者	利用目的 ^{※2}	延べ参加者数	1日あたりの参加者数	第2四半期		
										収入額	支出額	収支差額
1	4/4-5	第20回全関東空手道選手権大会	一般	2	A～C	NPO法人全世界空手道連盟新極真会不元道場	③	2,388	4/4準備45 4/5本番2343	479,986	0	479,986
2	4/18-19	第30回皇后盃全日本女子柔道選手権大会	一般	2	A～C	公益財団法人全日本柔道連盟	③	1,420	4/18準備110 4/19本番1310	598,699		598,699
3	5/1-5/2	ファイティンググローブ(REAL2ZONE) REAL×ZONE 第二章	一般	2	A～C	FIGHTING GLOBE(株)	④	1,180	5/1準備70 5/2本番1110	1,820,574	0	1,820,574
4	5月5日	大日本プロレス Endless Survivor	一般	1	A～C	大日本プロレス 四ツ葉工芸	④	1,800	1,800	1,213,400	0	1,213,400
5	5月10日	プロレスリングノア横浜大会	一般	1	A～C	(株)プロレスリングノア	④	3,110	3,110	1,108,375	0	1,108,375
6	7/27-8/5	ボリショイサーラス横浜公演	一般	11	A～C	(株)ボリショイサーラス	⑩	43,450	7/27準備120 7/28リハーサル60 本番5,406 8/5片付20	8,004,767	0	8,004,767
7	8月8日	新日本プロレスG1 Climax2015横浜大会『がんにならない負けない神奈川づくり』がん撲滅チャリティー	一般	1	A～C	(株)創	④	3,950	3,950	1,262,175		1,262,175
8	8/13-8/19	JOCジュニアオリンピック2015全日本ジュニア体操競技選手権大会兼国際ジュニア代表決定競技会、東西決勝大会	一般	7	A～C	一般社団法人全日本ジュニア体操クラブ連盟	③	9,258	本番1,542 8/19片付8	3,019,458	0	3,019,458
9	8月23日	OZアカデミー女子プロレス	一般	1	A～C	(株)オザキック	④	1,250	1,250	1,210,465	0	1,210,465
10	8月29日	第37回神奈川DoSaDoバーティ	一般	1	AB	神奈川県スクエアダンス連絡協議会	③	671	671	218,500	0	218,500
11	9月13日	第7回神奈川県空手道選手権大会「横浜カップ2015」	一般	1	A～C	国際空手道連盟極真会館横浜港南支部	③	3,027	3,027	373,466	0	373,466
12	9/20-9/24	2015国際ジュニア体操競技大会	一般	4	A～C	一般社団法人全日本ジュニア体操クラブ連盟	③	2,980	本番735 8/24片付30	1,635,900	0	1,635,900
13	9月27日	第35回バントワーリング神奈川県大会 第50回バントワーリング関東大会神奈川県予選	一般	1	A～C	神奈川県バトン協会	③	1,778	1,778	381,200	0	381,200
14	10/3-10/4	TK bjリーグ 2015-2016シリーズ 横浜ビー・コルセアーズ ホームゲーム	一般	2	A～C	横浜ビー・コルセアーズ	④	5,380	10/3 2,590 10/4 2,790	2,217,197	0	2,217,197
15	11月7日	EXIT TUNES ACADEMY UNDOKAI 2015 秋の大運動会	一般	1	A～C	株式会社ディスクガレージ	④	2,550	2,550	1,125,936	0	1,125,936
16	12月5日	REAL 3	一般	1	A～C	FIGHTING GLOBE 株式会社	④	3,090	3,090	1,111,249	0	1,111,249
17	12月20日	大日本プロレス BIG JAPAN DEATH VEGAS	一般	1	A～C	大日本プロレス	④	2,300	2,300	1,162,000	0	1,162,000
18	12/25-12/26	TK bjリーグ 2015-2016シリーズ 横浜ビー・コルセアーズ ホームゲーム	一般	2	A～C	横浜ビー・コルセアーズ	④	5,680	12/25 2,590 10/4 3,090	2,243,268	0	2,243,268
19	1月30日	第29回バントワーリングチームコンテスト	一般	1	A～C	日本バトン協会関東支部	③	3,777	3,777	476,466	0	476,466
20	1月31日	プロレスリング・ノア 横浜大会	一般	1	A～C	(株)プロレスリング・ノア	④	2,810	2,810	1,169,375	0	1,169,375
21	2/12-2/14	NBL 2015-2016 日本バスケットボール 横浜大会	一般	3	A～C	一般社団法人神奈川県バスケットボール協会	③	2,433	811	1,051,778	0	1,051,778
22	3月13日	ザ ヨコハマ スカウツ ピクトリー コンサート	一般	1	A～C	ザ ヨコハマ スカウツ	⑨	1,718	1,718	503,300	0	503,300
23	3/20-3/21	YOKOHAMA ROBINS コンサート	一般	2	A～C	YOKOHAMA ROBINS	⑨	2,190	2,095	989,300	0	989,300
24	3月30日	第9回日本高校ダンス部選手権新人戦 東日本大会	一般	1	A～C	株式会社ブルースプラッシュ	③	2,110	2,110	412,092	0	412,092
合計										33,788,926	0	33,788,926

※1 利用区分には以下のA～Fの利用区分にしたがい区分番号を記入する。

A9:00～12:00、B12:00～17:00、C17:00～22:00、D9:00～17:00、E13:00～22:00。

※2 利用目的には以下の①～⑩の分類にしたがい分類番号を記入する。

①スポーツ練習 ②スポーツ大会 ③有料非興業(スポーツ) ④興業(スポーツ) ⑤各種集会(スポーツ) ⑥営業宣伝(スポーツ)

⑦文化練習 ⑧文化大会 ⑨有料非興業(文化) ⑩興業(文化) ⑪各種集会(文化) ⑫営業宣伝(文化)